京城日報

「十一日夕刊」（朝夕刊併せて八頁）

本紙定價　一ケ月金六十五錢 …
廣告料　…
發行所　京城太平町通一丁目　京城日報社
電話 …

○對獨戰繼續

講和談判破裂の結果

東京特派員來電＝公報に依れば露獨講和談判破裂し過激派政府は各政黨と協議し憲法議會の名を以て對獨戰繼續を宣言すると共に十五歲より五十歲迄の男子を召集する事とせるが一般の露國人は歡喜し居れり（哈爾賓電報）

○寸土をも抛棄せず

獨逸バイエルン王は演說して曰く『吾人は敵が吾人の講和條件を承認する迄戰爭を繼續せざる可からず敵の講和條件は過大なり獨逸は寸土をも抛棄せず』と（倫敦電報）

○米大軍派遣準備

北米合衆國は大軍を歐洲戰場に派遣する爲め有ゆる方法を盡して船舶の建造を急ぎつゝあり（紐育電報）

○伊國の食糧缺乏

伊國は食糧の缺乏を來し英米兩國に對し救助を求めたり（倫敦電報）

○總統武力解決命令

一擧に討伐＝王總理辭職か

馮大總統は愈々武力解決と決し既に曹錕、張懷芝兩氏に出動を命じ差當り黎天才、石星川の兩氏を討伐するに決し河南湖南貴州等の兵力を以て四方より包圍し一擧に之を討伐す可く夫々命令したり王總理は此方針決定と共に總理を辭職すべく多分段芝貴總理兼任となる可し（北京特電）

○兩軍新鄉に戰鬪

南北兩軍は既に新鄉（河南衛輝府）にて戰鬪開始の電報あり政府は停戰を取消す可し（北京特電）

○原田社長留任

京都同志社長原田助氏の辭職は理事會にて留任と決議せり（京都特電）

○德川書記官通過

北京公使館へ赴任の途にある德川家正氏一行は十一日朝著釜午前十時半發列車にて北行せり（釜山特電）

●講和問題單純ならず

兩國要求扞格す

露國の單獨講和が聯合國の形勢に一大變化を來すべきは勿論なるが露國を以て單純なる背信行爲をなすものと見て一途に之を敵視し之をして益す聯合國に背馳せしむるは決して策の得たるものに非ず、是れ英佛其の他の聯合國政府が必ずしもトロツキー等の非難を大聲疾呼せざる所以なり。トロツキーが僞善的なる獨墺側講和提議は決して之を承認せずと云ひたる事の其眞意なるや否やは不明なれども露獨講和が急速に締結せられ得べしと思ふも早計なり

▲講和不速成理由　露國側は波蘭リスアニヤ、クールランド等に對して眞正に人民の自由意志に依りて其の政治上の去就を決せしめんとするに對し獨墺側は其軍隊占領中に投票を行ひて之を獨墺領土となさんと計畫しつゝあり況んや獨逸主義は戰前二十二年間に亘りて終始一貫して唱道し來りたる所にして一九一一年出版のタンネンベルグ著『大獨逸』には露領波蘭、ガリシヤ、ヴイスチユラ河盆を合して新波蘭王國を建て之を墺地利に屬せしむべしと云ひ居れり、獨逸の目的は此新波蘭王國設立の結果として墺國皇帝は洪牙利王たると同時に波蘭王となり、墺國議會に於けるガリシヤ選出の議員は自然波蘭議會に出席する事となり墺國議會に於ては獨逸派議員が多數を占め獨逸の勢力は益々墺洪國に增大すべしとの豫定なり、最近に墺地利が波蘭を併合する計畫あるは獨逸が墺地利の勢力に屬せる也と觀察するは此獨逸年來の計畫を知らざる者の言也

▲双方共困る條件　（倫敦一）　一八九五年伯林に於て出版されたる一九五〇年頃の汎獨逸と題する小册子に於て波蘭及び小露王國は自己の陸軍を要せず獨墺の守備兵を其の境内に置くべく郵便電信及び鐵道皆獨逸の手に依りて管理すべしと云へり目下獨墺の露國に對する交渉は皆曲直行に勉めつゝあるものなり之を絕對の無併合を主張するトロツキー一派が承諾するや否やは問題なるが假りに獨墺の條件が承諾されて單獨講和が成立したりとして之が聯合國側に危險を生ずると同時に獨墺側にも危險を生ずるものなり、トロツキーの宣言は各民族の政體自由選定を標榜し居り此主義は敵味方雙方に通用すべく從つて聯合國側にありては愛蘭、埃及、印度、支那諸屬邦の運命を考量すべく獨墺側にてはアルサス、ローレンス、トランシルヴアニヤ、ヘルツエゴビナ等の所屬を考量すべし、其考量の方法は其土地住民の意志に依るべしと云ふにあり英國が愛蘭印度の人民に其政體選定を許すや否やは別問題として獨墺をして墺地利在住の各民族に其政體を自由に選擇する權を與へしめんとする提議は獨墺に取りては其急所を衝かれたる感なき能はず、例へば墺地利にある一千萬の『マギヤル』民族中九百萬人は貧窮なる農民にして彼等は今日迄其膏血を絞り來りたる百萬の貴族僧侶官吏に對して反感を懷く事決して露國農民が露國皇室の下にありて貴族僧侶官吏に對して懷きたる反感に劣らず其の他波蘭、ボヘミヤ、トランシルヴアニヤ等に於ける住民は皆獨逸の壓制を憎み機會さへあれば反抗せんと欲し居れり、其人口五千五百萬に垂んとす。露國に革命起りたるも獨逸が露國の不平農民を煽動したる爲也聯合國も獨墺國內の不平分子を煽動すべかりしなり露國の講和提議は聽て此の不平分子煽動の結果を見ずや是れ亦聯合國政府の考慮を要すべき點なり（東京）

◎李王御禮言上

李王世子殿下は東京御出發の前日大正天皇陛下に拜謁仰付けられ種々御下賜品ありたるにつき李王李太王兩殿下には十日午後二時三十分總督府に國分李王職次官を遣はされ天皇陛下に御禮言上の傳奏方を申出でられたるにより長谷川總督は直ちに波多野宮內大臣に宛て電報を發し右執奏方を依賴せり

◎定例長官會議

十一日午前十時より總督府第一會議室に於て定例長官會議を開き山縣政務總監以下各部局長官及び所屬官署長參集し長谷川總督臨席の上諸般の事務に就き協議する處ありたり

◎課稅標準改正

今回安東輸入主要貨物に對する東關課稅標準價格改正の旨滿鐵京管局に通知ありたり

◎郵貯新記錄

現計一千百六十萬圓

朝鮮の郵便貯金は一千百四十八萬圓の現額を以て越年せしが新年に入り漸增して十一日の現在高は一千百六十萬圓に達し何れも新記錄の數字を示し居れり尙ほ客年十二月に於ける受拂狀況を聞くに例年ならば歲末には納稅貯金の引出し及び年末資金の需要多く拂出し少なからざるも本年は農民好景氣のため納稅資金として預金引出し及び年末資金らしき拂戾しの請求は多からず十二月は大勢は預入多からず而して拂出しも少なしと云ふを當れりとするものゝ如し而して其の預入の振はざるは朝鮮事業外借拂込みのためと見るを妥當とすべしと

◎遞信官署受拂三億

一般財界の膨脹と取扱金額の激增

大正六年は朝鮮新事業の企畫續出せると米豆輸出の增收並に値上りあり更に鑛産額の新記錄を示すあり水産の好況なるあり之等の鮮內生産增加は一般經濟界の膨脹を來したる結果朝鮮總督府遞信官署の取扱に係る爲替貯金並に國庫金の受拂高も異常の增加を來し其の總額二億八千六百零六萬七千四百七十三圓に及び之を前年の二億一千三百九十萬圓に比すれば七千三百二十餘萬圓の激增を示し居れり即ち各種別に擧ぐれば左の如し（單位千圓以下切捨）

	大正六年（千圓）	大正五年（千圓）
內國爲替振出	五一、〇四六	三八、四〇四
同拂渡	四四、〇五〇	三三、九九五
郵便貯金預入	一四、二九七	一九、七〇三
同拂戾	一三、四四五	一七、〇〇六
振替貯金拂込	六三、三二七	四四、九〇〇
同拂出	六〇、八〇六	四三、七三五
國庫金歲入	二三、六九六	二二、五四九
同歲出	一六、三〇三	一七、一九七
受入合計	一五二、三六六	一二五、一六五
拂出合計	一三四、八九九	一〇〇、三〇三
受拂合計	二八六、〇六七	二一三、九八八

乃ち國庫金の受拂ひは之れを前年に比し總計に於て殆んど差なきにも拘はらず內國爲替振出及び拂渡は合計に於て二千四百萬圓を增し郵便貯金は九百五十萬圓を又振替貯金は三千八百四十萬圓の增加となり一般財界の好況に伴ひ郵便局所の各種受拂ひも著しく繁忙なりし事を覺知し得べし

行しつゝある旨北滿にハルビンより入電ありしと

◎東拓移民審査

大正六年度東拓に於て募集せし移民應募者に對する審査は昨今京城支店下の各出張所共略終了せしが尙ほ移民としての資格は十分なるも然も其の希望地なきため他の個所を選定し交渉を進めつゝあるもの若干あり旁々目下の所承認戶數は第一種第二種を通じ約七百戶內外なるべしと

◎鐵道倉庫續開

一月一日より京義線新幕、水南驛にて又十日より同じく京義線黃州驛並に京釜線水原に於て野積寄託の倉庫營業を開始する事となれる旨滿鐵京管局にて公表せり

◎漢湖農銀成績

配當は年五分の割

漢湖農工銀行にては過般三十一日を以て今期營業の總決算を行ひたるが未だ全部の終了を告げざると重役會議開催以前なるを以て詳細なる成績は發表し得ざるも期末に於ける預金は二百四十八萬圓貸出金は四百三十二萬餘圓に達し前期に對比せば預金十萬圓貸出四十萬圓を增加せり而て今期營業成績の概要を見るに損益差引殘金に於て三萬二千三百餘圓を出し此內より固定資產償却一萬二千三百九十餘圓を差引き之れに前期繰越金三千百四十一圓を加ふれば合計二萬三千九十餘圓となるも此內より諸積立金を控除せざる可からざるに付結局今期株主配當は前期同樣年五分に

◎露鐵道の運行

西伯利に於ける勞兵會對市民中産階級の對抗は形勢益々切迫を加へ居れるが本國及び東清鐵道の臨時列車運轉は遲延勝ち乍ら每日運轉しつゝあり

□東京より

露獨講和前途と我帝國の一大決心

在京一記者

○世界の大戰は、大正三年より四、五、六の星霜を經て、第五年に入り、勝敗の前途如何、未だ測る可からざるものありと雖も、第五年に入りて危急存亡の秋たるのみならず、我が帝國に取りても亦危急存亡の秋たらずんばあらず。是れ吾人が第五年の初めに當り、急奮鄭論敢て我國民の國家的自覺を促さむとする所以也。

○試に想へ、露獨の單獨講和成り、獨逸の勢力、露國に浸潤し、政治的に經濟的に、直接其の影響を受くるに至らば、露國を支配するものは、獨り英佛諸國のみに止まらず、東邦諸國は獨逸勢力の將す所となるも未だ知る可からざる也。獨露提携の結果、獨逸にして西比利鐵道を利用し獨露の聯合軍東邦に臨まば、東邦の平和は其の保全を期する能はざるに非ずや、我が帝國は、今日に當り、彼の來らざるを恃まず、我が待つあるの準備を講じ、北露に對する根本的政策を樹立するの用意を懈る可からざる也。

○又た露獨單獨講和の結果延いて聯合軍の失敗と爲り、獨墺軍、戰局の大勢を制し、聯合國にして獨墺諸國と屈服に等しき講和條約を締結するが如きあらば我帝國の位置は果して如何。若し講和會議に於て獨逸が其占領したる白耳義及び北佛地方を返還する代償として其占領せられたる亞弗利加植民地並に南洋諸島の返還を要求し、聯合國にして之を容るゝに至らば、一旦占領したる青島並に南洋諸島の處分は、之を如何せむとする乎。我が帝國は今日に當り、最も愼重なる注意を拂ひ、露獨講和談判の成行如何を察すると同時に、聯合國の態度如何を注視せざる可からず。

○露獨講和談判の結果如何は、未だ知る可からずと雖も、露國の過激派政府が、獨逸の傀儡と爲りつゝあるは、旣定の事實にして、而後獨逸の勢力が政治、經濟各方面に渉りて露國を蠶食するに至らば露國は事實に於て、獨逸の下に立てる藩屬地たるに過ぎざるべし。果して然らば、我が帝國の將來は、軍事に、外交に、獨逸と接觸するの覺悟を以て、之に對せざるを得ざるに至らむ。是れ豈に我が帝國の一大決心を要せざる可からざる時たるに非ずや。吾人は我が國民が國家的に自覺して對世界的の經綸を畫し、以て未曾有の變局に應ずるの用意を忘るゝ無からむことを望まざる能はず。

◎鮮銀券收縮

朝鮮銀行券發行高は各銀行にて貸出したる年末資金の回收に伴ひ漸次收縮し十日の所六千六百萬圓臺に落ちたり

決定せんが尙ほ同行株主總會は來る十四日午後二時より同行樓上に於て開會すべしと

◎戶別割告知注意

京城府財務課にては大正六年度第四期分學校組合費戶別割告知書一萬五千七百通を其の納稅者へ向け發送せるが其の指定納期は一月三十一日限にして從來は督促狀發付の時期を多少遲延する傾ありしも自今は納期を經過すれば直ちに督促狀發付に移る方針なれば納期限內に完納する樣注意ありたしと

◎就學兒童屆出

本年四月新規入學すべき學齡兒童は明治四十四年四月二日より同四十五年四月一日迄の出生者にして右に該當する者は來る二月二十八日迄に戶籍謄本を添へ京城府學務課に屆出づべしと

◎世子殿下御出迎

李王職高羲敬男、同事務官、武官、趙東潤、村田彬氏等は王世子殿下御出迎の爲め十一日附を以て釜山に出張を命ぜられたり

◎荻田局長歸任

鄉里三重縣に歸省中なりし荻田總務局長は十日夜南大門驛著歸任したり

◎大塚參事官發期

今期議會に政府委員を仰付られたる大塚參事官は用務の都合に依り山縣政務總監に先だち來十七日出發東上の筈なるが總務局より伊藤吉留兩屬同行すべしと

◎中村少佐出發期

新任慶南道警務部長憲兵少佐中村孝三郞氏は十二日朝京城發赴任す可し

◎岡本技師歸任

遞信局技師岡本桂次郞氏は內地出張中の處十日朝歸任せり

◎二主計著任

元大阪第八師團附一等主計眞山寬藏氏は今回朝鮮駐劄軍司令部附に轉じ弘中主計の後任として十日朝著任又元咸興隊附一等主計根岸衞氏は同日朝上陸派出所附二等主計中川北主計の後任として同日著任せり

◎米國總領事招待

京城駐在米國總領事ミラー氏は過般石井特使渡米の際歸米して日米國交の親善に對し多大の盡力をなし先達ての歸任せしを以て十日午後六時より氏と平素親交ある官民一部は同氏を千代本に招待小宴を張りしが主人側を代表して渡邊高等法院長はミラー氏に對し日米國交の親善に就き謝辭を述べ今夕は非公式ならず有志の一部同人相寄りたれば十二分の歡を盡されん事を望む旨の挨拶をなし打解けたる間に交歡十時過ぎ散會せしが出席者は渡邊法院長、宇佐美、松永、持地各長官、[illegible]、美濃部總裁、三島理事、西村一銀支配人、入江關支配人等主客十二名なり

◎日本麥酒の張宴

大日本麥酒京城支店長吉田勝次郞氏は十二日午後六時より在京新聞通信雜誌各社の主なる人々を千代本に請待し晩餐會を催すべしと

□大阪便り

支局一記者

▲本邦紡績業中率先して支那に放資せるは日本棉花、合同紡績にして之に續いて內外棉、東洋紡、攝津紡と共に將來策を樹立し或は工場新設に或は諸設備買收擴張に若くは綿花自給策に各々實際調査に着手せるが

▲躍進せる支那紡　支那に於ける同業の趨勢を見るに最近年度に至り支那の紡績業は再び興隆の機運を釀成し大正四年度に於て百萬錘を算し昨年春期は實に百三十二萬錘に達せり而して既設會社總數三十一社中外人經營のものは日本の二十一萬錘、英國の二十四萬錘、獨立の十一萬錘等にして之等合計五十六萬錘を除去したる八十餘萬錘は全く純然なる支那人の經營に係り加之製品技術の進步營業の改善は漸く面目を改め收益十分の確保を得たるのみならず太盛に於ては優に日本品に對抗し得る程度に發達し前途の有望を見越して益々增錘及び新計畫を立て既設錘數を合して百六十萬餘錘に達せり其內譯如左

增錘計畫

通裕	一五、〇〇〇
德大	二〇、〇〇〇
內外	二〇、〇〇〇
廣益	二五、〇〇〇
振新	一五、〇〇〇
上海	四五、〇〇〇
合計	一二五、〇〇〇

新設計畫

厚生	二五、〇〇〇
寶新	五〇、〇〇〇
新華	一五、〇〇〇
溥益	二〇、〇〇〇
漢口	四〇、〇〇〇
湖元	五〇、〇〇〇
聲豐	二五、〇〇〇
合計	二二五、〇〇〇

▲右の中新設にて漢口、長沙の二萬錘は九月に漢口第一工場の四萬錘元の二萬五千錘は十一月始めて其に操業を開始し尙ほ長沙の新設紡織二萬錘の設備を加へんか新設なるべし是等諸設備紡機が一齊に三十萬錘を事實に現はするも最近十六番手を紡出すこと假定せば月に十六萬梱に達し從來我國が三萬梱に達し得る供給せる約半額を供給し得る斷定なり

▲若し其れ此の勢に乘じ巧に資金を得て棉花供給を策し以て我に對せんか他日我同業者に大打擊なしとせず更に大正十年度より實行の豫定なる關稅現價五分の一引上げに遭ひ製品價格に於て彼我に優劣を生ずる場合益々本邦品の不利なるべきは免れず此際須らく對支紡績策を永遠に講ぜざる可からず

人事消息

▲權藤四郞介氏（李王職事務官）　十一日附を以て慶南、全州、咸興三郡へ出張を命ぜらる往復四日間の豫定
▲佐藤修二氏（總督府技師）　八日より全南光陽、寶城、海南、長興各郡へ出張
▲久次米邦藏氏（勸業模範場龜崎支場長）　十一日附を以て往復十七日間の豫定にて東京、茨城、靜岡の一府二縣へ出張を命ぜらる
▲上林敬次郞氏（忠南道長官）　十一日正午出京
▲中村辰五郞氏（[illegible]）　十一日朝入京天眞樓へ
▲長尾戒之助氏（日本セメント會社八代支店長）　十日夜入京不知火旅館へ
▲岡本甚三郞氏（騎砲）　十日午後內地より歸任
▲藤井憲兵中尉　十一日午前大田へ
▲吉岡憲兵中尉　同日錦山へ
▲川江京管局工務課長　沿線視察の爲十一日朝京釜線へ出張

●訂正　十日夕刊「滿洲航路と對外航路松崎拓殖課長談」中北海道でも昨年來さるるは一昨年來の誤りに付訂正す

新春新韻

○勅題「海邊松」　竹田蕉雨

初旭曈曨佳氣濃。盤根映水起潛龍。
歲寒貞幹看高節。曆改蒼髯更舊容。
拍岸濤痕鷗尙睡。戴雲蓋影鶴相從。
嚴氣不動天恩洽。春色悉施獻九重。

評曰　高潔超俗。絕無纖華之氣。

○同　上　高井椿堂

日暖流涯霞彩濃。晴沙十里鶴留蹤。
春風謖々琴聲起。影映恩波栽樹松。

評曰　一幅土佐派畫景。閒雅可愛

○同　上　永井烏石

萬株三保浦頭松。蒼翠千年對富峰。
忽見羽衣仙客到。紅暾出海彩霞濃。

評曰　如聽羽衣之一曲。音節瀏喨

○同　上　內田六閘

靄際商吟出窗櫳。日升初看萬年松。
大恩何幸無遐邇。一帶漁村佳氣濃。

評曰　前半壯麗

補缺會員募集　各組若干名
一月十四日より授業開始す　會費木月に限り半額
旭町二丁目　電話二六九番
實用英語夜學會

債券
初回抽籤愈々二月　六十七回　四十圓　二十二圓
中野商店債券部　電話十一番

購買　玄米、精米、四斗入叺
龍山陸軍倉庫

大阪堂島米穀取引所仲買人
曾我一郞商店

白神洋行
ペイント、油類一切
コークス、セメント、耐火煉瓦、モルタル、スコップ、シヤベル
帶革、ロープ　機械、工具　附屬品　其他
鐵材　鋼板、平板　針金、洋釘
新田帶革總代理店

最新刊

書名	著者	定價
春の海	海邊筱亭	一、二〇
紅海	集鐵丹小史	八〇
ある僧の奇蹟	田中花浪著	一、五〇
人及び藝術家として	廣木田稔	八〇
歐洲戰爭と民族主義	永井柳太郎	一、二〇
小說より面白き事實物語奇話	田中貢太郎	一、五〇
浪六傑作集 第一卷 春雨傘		一、〇〇
初渡航法	永田稠編	一、〇〇
文學叢書 第一卷 一握の砂	田中花浪	五〇
同 第二卷 波の上	正宗白鳥	五〇
同 第三卷 秋の聲	長田幹彥	五〇
日本學術速成合編		二、〇〇
自修英語速成		
新興文叢書 第四卷 春と空	谷崎精二	五〇
漁村敎育	寺崎千代藏著	四五
和歌流式便覽	小野村敎綸	七〇
二人探偵	長谷川天溪	七五
山國の怪	岡本綺堂著	七五
二百六十五種人名士に選んだの日記	西宮藤朝著	九五
常識百話と生活の趣味	澁澤隆吉著	一、二〇
大正の青年と其修養	細川讀書家	一、三〇
育兒物語 一姬二姬三太郞	高原一著	一、〇〇
現代の男女へ	らいてう著	一、四〇

大阪屋號書店

列車時間表

[illegible]

十一月一日現行

兩陛下より多數 御土産品御下賜
李王世子御出發に際して

李王世子殿下御歸鮮に當り天皇皇后兩陛下より同殿下に託し李王同妃李太王各殿下に對し左の御品々を賜はれり

一、御紋章入花瓶 一對宛
一、御織物 一卷宛
一、御文具 一揃宛

尚王世子殿下御暇乞の爲め宮中御參内の節皇后陛下より特に同殿下に左の御下賜品ありたり

一、金製釦 一揃
一、皮製旅行具 一箇

右旅行具の內には種々高貴なる御菓子等を滿たされたるやに承はる（東京特電）

京都の李王世子
戰術英語に御造詣深しと
▽御學友なる趙大鎬少尉は語る

李王世子は十一日午前九時半京都ホテル御出門桃山御陵に御參拜あり午後三時より旅館にて梨本第十六師團長宮の御來訪を受けさせられ同七時三十八分京都にて下關に向はる御渡鮮に就き殿下は非常に悦ばせられ居れり學友として共に少尉に任官せし趙重應子の息趙大鎬氏は曰く「殿下は殊に戰術の研究を好ませられ外國語の學修に深き趣味を有せられ就中英語は原書を精讀あり御嗜好としては乘馬にて本邸には三匹の駿馬あり」と（京都特電）

凪の日さへ選べば
關釜間は愉快に飛べようが
然かもこの飛行は樂ではない輕視しては不可ない玄界の氣流の變化は激しい
軍司令部高級參謀 山本鶴一氏談

關釜間の大飛行が三月上旬に決行されるさうであるが我國航空界に於ては壯擧たるを失はない、元來飛行機は氣流の變化の激しい山地飛行よりも海上飛行の方が容易であるが何分

關釜間には臺灣近海から九州の

西を洗つて來る暖流が北流して居るので氣流に變化が起り易く且つ滿蒙方面に現はるゝ高氣壓と南支方面の低氣壓の影響が激しいから飛行上非常な困難に遭遇しないとも限らぬが併し近々百哩の海上であるから凪の日さへ選んで突破したならば渺茫たる日本海上天空快潤の內を愉快に飛行する事が出來るだらう

著陸場は多分釜山鎭の埋立地で

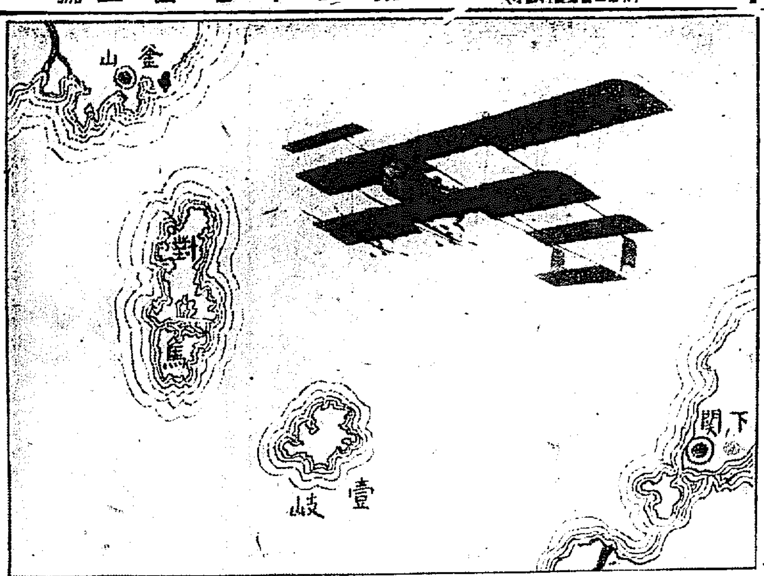
あらうが平地三百米突平方もあれば充分であるから彼の埋立地は著陸場として最も適して居る、朝鮮に飛行隊が新設さるゝやうな新聞記事が見ゑたが眞僞は別として將來鷄林の野にプロペラの音が聞ゑるやうになつた曉、內地から朝鮮へ、朝鮮から滿洲へ、飛れ連絡で出來るやうになつたならば軍事上非常に有効であるが、斯る意義から觀て

關釜連絡飛行は重大なる使命を

有するものと信ずる、世人は歐洲戰場に於る飛行機の華々しい活動を見て關釜間の飛行位は何でもないやうに考へてゐるであらうが、歐洲戰爭前の英佛の飛行界の如きは日本よりも幾十倍か進步して居

毎月二三回位飛行家が慘死した

たがそれでもドーバー海峽突破の際海上に墜落して行衞不明になつた飛行家は尠くなかつた余が英國駐在中の如きは……のを見聞した、如何に進步したと云へ高空に於いての仕事であるから危險が伴ふのは當然で假令百哩に過ぎない關釜間の飛行と雖も輕視する事は出來まいと思ふ



■モ式飛行機と飛行區域

赤愛會員出迎

李王世子御著當日來る十三日午後九時李王世子殿下南大門驛御著につき赤十字社朝鮮本部にては有功特別社員、愛國婦人會にては役員何れも南大門驛まで御出迎申上ぐる筈

汽車火事
郵便物旅客手荷物全部燒失

九日午後五時醫巫閭仙臺間運轉の貨物列車中木炭を滿載せる貨車より盛に火を吹きつゝあるを發見し二ケ關信號所にて回避線に入れ切離しつゝありし所へ上野行旅客列車進行し來りたる爲め其前部緩急車に燃ね移り郵便物旅客手荷物の大部を燒失したり（東京特電）

恐ろしい寒さの影響
▽―水道が凍る瓦斯が凍る
それにつれてストーブが利かなくなる煖爐が燃ねつかなくなる

寒氣の影響も改めるさうである。悲しいものである

氷點下二十何度といふ嚴寒であるから水道の凍つて出なくなることは腹だしい、ツイ此の間の如きは午前中道の水道係に對する電話の「御話中」が百八十回もカチ合つた始末であるが斯んな有樣で自然

◆水道の修理が間に合はず爲に南三日以上も工夫が出て往けない爲めに引用者は尠からず迷惑してゐるとの事である、さうして此の嚴寒の爲めに故障を來たすものは獨り水道のみならず瓦斯引用者殊に煖爐やストーブに瓦斯を使つてゐる者も非常に困つてゐる殊に煖爐の如きは

◆肝腎な朝飯を炊くとき氷り付いて火がつかないので僅かに七輪で火を起すといふ始末であるがストーブの如きも最新式のカルカツタといふ骸骨の樣なものを熱灼する裝置のストーブは殆ど用をなさず夕方になつて漸やく燃付く樣な始末であるから或る御役所の如きは二十個近きカルカツタストーブを石炭の舊式ストーブに

南洋で秀才教育の計畫
光瑞師の壯擧

大谷光瑞師は多年の抱負たる秀才教育を南洋にて爲す由にてセレベス島に學校を起す筈なり師に依頼する人々は此の際術後年々五萬圓宛を師に寄贈として贈呈し又同志の發起にて光瑞師の爲め後援會を起し上海に邸宅を新築すと（大阪特電）

雪中埋沒者續々發見さる
新潟縣下暴風雪被害の詳報

新潟縣南魚沼郡三俣村は舊臘廿日午後十一時半烈風と共に大雪崩落下し來り全村七十餘戶の內三十餘戶下敷となりて倒壞し男女百五十九名埋沒し一日朝迄に百十名を掘出したるに內五十五名死亡し其他五名生命危篤なり（東京特電）

海軍志願者注意

[illegible]學校、機關學校、經理學校等に入[illegible]海軍兵[illegible]じ志願者の迷惑する者尠なからざりしが今回右に關し其の手續[illegible]

大阪力士も野球を

■昨年六月大阪力士が天王寺公園で破天荒の運動會を催して以來力士連の運動熱が一段と高まつて來た矢先稽古中で肝腎な場合でも本場所が濟んでから始めるとに申したことはありますがまだ具體的には定つて居りません

■何分今は本場所の……

■一つ大奮發して是非此本場所後には野球團を造り練習を開始しようではないかと云ふ話が持ち上つた、右に就き心ある一人なる大泉は語る『大阪力士の間にも野球をやつて見たいと云ふ話は木下博士や伊藤鐵五郎さん……

けそれは熱心家です……體に野球はどちらかと……

■鳴尾などの野球を見て研究して見たいと思つて居りますが其處までは參りません、何れにせよ本場所後に餘裕が出來たら實現したいと希望を持つて居ります

■兎に角關西運動界の新機運として大阪力士の野球チームの出現は歡迎すべきことで前記伊藤氏なども大に贊意を表して居る（大阪）

……一方東京では鎭西山其他の面々が野球チームを組織して盛んに熱度を上げ追々と好成績を示して居ると聞いた大阪力士連も牛肉の喰ひに……

■それも本職を捨てゝ熱中することは不賛成です、大切な本場所も終つて優勝でもするなら吾も吾もと云ふ意氣込みで始めることでせう

質屋の店の居直り強盜
逃走中を捕はる

支那間島和龍縣三合社東京臺居住崔二植（二七）は外一名と共謀し十二月二十五日午前三時頃京城太平通二丁目釜山日報支局に忍び込み眞羅任所有のオーバーコート外八點（百十二圓）を窃取し仁植は其のオーバーコートを著用して同日午後六時頃蓬萊町二丁目質屋李仁宅方に至り著用のオーバを四圓に入質したる際同家の金庫に目を附け僞りにオーバを奪ひ返して仁宅に打かゝり聲を立てると殺すぞと出刃庖丁を以て嚇しつけ居る所に同人の長男九明（二七）が驅け來りたる爲め逃走を企てオーバも庖丁も途中に遺棄して逃走せしも附近の李康淳の應援に依り遂に仁宅等に取押へられ本町署にて取調の上檢事局へ

二萬餘元强奪
輯安縣の馬賊跳梁

輯安縣新上甸臨時支部長金利求が伐採鎭派遣所員に寄せし情報に依れば客年十二月二十一日輯安縣盜和保大荷溝に頭目氏名不詳の馬賊十六名來襲し同地支那商店興順盛、德傳、興盛永、永發福の四戶に闖入し總計二萬六百二十元を强奪逃走せり右急報に接し通溝迎擊隊は討伐の爲め直ちに出動したるも賊團は何れかへ逃走し蹤跡を晦ましたり

自轉車乘用取締規則勵行
違反者續々告發さる

一月一日より施行されたる自轉車乘用の取締新規則に就いては其の當初とて警察官憲にても幾分大目に取扱ひ居りしが依然として違反者多きより漸次取締りを勵行し初めしが一月十日一日間にして本町警察署管內にて告發されたる違反者十數名ありたり

竹添町出火
損害五千七百餘圓 詳報

十日午後八時半頃京城竹添町二丁目二番地森原右衛門經營製麻織物工場より出火常備消防隊及び警察官憲出動せしも折柄の斷水にて全く手のつけ樣もなく僅かに肥用喞筒を以て辛くも消し止めしが是が爲工場の建物一戶二棟を全燒し次いで接續せる同町久保田屋無橋南洞一五九番地金錫浩一五八番地金商協方の三戶三棟をも半燒するに至れり損害合計五千七百五十圓なるが因みに工場の建物は南大門通り富來祥の所有にして工場主任は細川安夫なりしと

無理心中か
男は資產家の伜

既報慶南鎭海岩片町貸座敷東洋樓抱へ娼妓一龍事林田ちゑ（二〇）は驅逐艦村雨乘組二等信號兵小丸作松（三三）と馴染みの仲なりしが一月四日午前六時頃同樓二階通路の山手にて兩名共情死を企てたるものか女のみは松の枝に長さ四尺の海軍水兵用

△防寒頸卷にて縊死を遂げ居るを發見し鎭海憲兵所にて檢視せしが相手方の作松は影も形も見えず唯死者の傍らに鎭海植西吳服店名入りの風呂敷一枚あるのみ、而して女の右の袂には千切られし錦絹の片袖入れあり遺書等更らになく兵相識かならざるも前後の狀況より見て

△言ひ爭ひたる末男が女を絞殺し己れも自殺せんとせしも俄かに怖氣立ちて死ぬのが厭さに恰かも女が縊死したる如く松の枝に吊り下げたるにはあらざるか、或しより男は恐ろしさに其の儘背囊洋服に著替へて逃走したるにはあらざるかとも思はれる節あり目下引續き作松の

△行衞搜索中なりと、兩名は昨年十月頃より馴染を重ね作松の實家は相當の資產家にて其の一

和田博士追悼會

仁川東本願寺にて施行の筈なる故和田博士追悼會は愈々十二日午後二時と報道せしも十三日（日曜）午後二時の誤りにつき特に訂正す

龍山十日會

龍山十日會は昨十日午後五時より龍山新亞にて開會出席者八十餘名先づ當番幹事より一場の挨拶あり次回當番幹事の指名となり藤田安之進、金子禮治、大多和卓一外三氏當選し終つて宴に移り盛會裡に午後九時半散會せるが師團側よりは岡本參謀長、西川軍醫部長等出席せり

凍死者頻出

島根縣邑智郡一山村生れ住所不定無職梅谷留一（四〇）は十一日朝京城太平通二丁目六十四番地驛津方にて營養不良より凍死▲住所不定金承仙四十五六歲位の者は十日午前二時頃林町五十六番地の畑中にて凍死▲南米倉町二十三番地の路傍に十一日午前五時頃四十歲位の乞食體の朝鮮人男營養不良より凍死▲長谷川町九十番地の路傍に十二日午前八時頃四十二年位の朝鮮人男一名凍死

●無門會初講● 十二日午後四時より京城俱樂部に於て佛典の堅なる無門會の初講は禪海一瀾の『聖統』第二十三則及び『死色』第二十四則なりと

●花園婦人會● 臨濟宗妙心寺別院にては十二日午後一時より花園婦人會を催し後藤瑞巖老師の法話ある由

[illegible]一等十一名[illegible]

商況

東京期米特電
[illegible]

兵庫期米
[illegible]

深川正米特電
[illegible]

大阪株式特電
[illegible]

大阪三品特電
[illegible]

大阪期米特電
[illegible]

下關期米特電
[illegible]

雜報

綿糸布反落
[illegible] 高の報も利目なく一段 小甘 現物は角セ十六手 三百二十二圓 九龍共十一圓二 十錢 綿布龍しー及 漸く上間

株式大勢良好
[illegible]

正米漸く軟化
[illegible]

入氣漸く行當
[illegible]

稍廻米增加の徵
[illegible]

氣配減切軟化
[illegible]

商標變更廣告
商標に（一）商標に變更致し候間今般從來の居候處……

此段謹告候也
大正七年一月十一日
仁川府海岸町二丁目
仲買店
電話二八〇（略）

小麥粉大買占
斯の如き量の買付 は空前の事 製粉取引杜絕の姿

錫更に高氣配
逆相場一二三圓高

石炭酸軟化
鉛 [illegible]

越年後の今日 依然相場は强硬 商狀漸次硬化の趨勢

北鮮片栗好況

仲買店 仁川米豆取引所仲買人 主任 西川平治郎 電話一五八番 自宅電話一五九番 七二〇番

下關相場
[illegible]

京城正米
[illegible]

南大門の廻穀
[illegible]

仁川正米
[illegible]

釜山穀物（十日）
[illegible]

▲釜山水產市場（十日）
[illegible]

仁川期米
▲十一日前場（保合）
▲第一節 兵庫二十三圓五十五錢、大阪天候曇天 [illegible]
兵庫五十一錢 東京十一錢

仁川米豆取引所
十一日の三月限
關係上新規の賣 小口割高 現はれ [illegible]

△十一日後場 大阪 米 [illegible]
大阪止高値に五十一錢と接ね五十錢と散會せり 後場當限一節十九圓九十錢八十五錢 [illegible]

仁川米豆取引所 十一日の三月限 付 二十四圓四十八錢 [illegible]

天氣 晴れ（十二日午前六時より十二日午後六時迄）

▲十一日[illegible]大阪下落を受けて當十九圓九十五錢先限に寄り四十八錢と七錢安に寄九錢と一歩迄りしも[illegible]

平均値段	[illegible]

◎支那關稅改修問題

支那が獨墺兩國に對し宣戰してより協約各國は支那の提出せる三條件に對して一律に承諾を與へたり其三條件とは賠款支拂の五年延期稅則改修、辛丑條約の一部撤消これなり最近（去月廿五日）支那政府は稅則改修問題の解決に著手し現行進口稅則修改委員會正主任曾彜進副主任李石芝等は已に修訂中國入口稅則出國委員會を組織し英米日露西班牙瑞典白耳義以太利及巴西和蘭諾威丁抹の諸國は各上海駐紮の領事を委員として列席せしめ一月五日開會の運びとなりたることは既に報じたる所の如く其の主たる問題は貨價の調査と改稅事宜の籌商に存し而かも

▲改修の籌議 なるものも現貨五分とするに在りて稅率を加へんとするに非ず又貨價の調査も唯稅率新定の標準となす迄にして釐稅裁撤と毫も關係なき事を知らざる可らず世人は往々此點を以て加稅裁釐を一併して觀察するも實は其內容を悉くさゞる結果なり抑も現行進口稅則は前淸光緒二十八年續訂せるものにして其貨價の估算は千八百九十七八九の三年の卸貨時に於ける各貨の價値を以て標準とせるものに係り稅則を修訂してより今に至る迄已に十五年を閱す世界の市況は日異月新するが故に此長日月間の貨價の變遷は眞に著しきものあり試みに海關の調査を觀るに民國四年一年の輸入貨物の價額は約四億五千餘萬兩にして之に百分の五の稅率を課する時は

▲輸入正稅か 二千二百萬兩以上に達すべきに拘はらず一部分に對する從價稅二千萬兩以上を除く同年の實收額は僅に一千四百餘萬兩に過ぎざりき今後稅則を改訂すれば每年の海關收入は進口正稅のみにて八九百萬兩以上を增收すべく稅則の改修が支那の財政に稗補する處の大なるは勿論なり、支那每年の輸入貨物は綿布を以て大宗となすが綿布に至りては日本より輸入するものを最も巨しとす即ち民國四年輸入綿布の價値は六千七百餘萬兩にして

▲日本輸入額 は其半數以上に及ぶ現行稅則を按ずるに原色棉布は每百斤銀九錢五分にして每擔三百斤なれば稅銀二兩八錢五分に過ぎざりしも當時の價格は每擔僅かに六十兩前後を値せしのみ今日にては已に一百數十兩に騰貴したるを以て現價に照らし稅則を改訂せんか每擔銀二兩八錢五分の收稅額は一躍して少くとも五兩六錢以上となるべし此次の修改は加稅に非ずと雖も負擔者の方面より之を言へば加稅と異なるを見ずこれ我綿絲布業者が稅則の改修に反對する所以なるも對獨問題を解決したる報償として協商國が其改修に一致したれば我政府は獨り別異の見地を採る能はざる苦境にあり勢ひ日本の當業者は重稅に惱まされ支那の當業者との競爭上不利の地位に立つを免かれず是を以て稅則の改修は加稅裁釐とは兩事を爲すと雖も支那の國計と民生上に稗補する所少小にあらず

◎農業開發氣運 滿期守備兵の處置

滿洲農業中水田經營の有望なるは已に各方面に於て十分試驗せられたる處なるも之れが經營者は少くも能く滿洲の風土に馴れ滿洲に於ける相當の智識經驗を具備せざる可からざるを以て新に渡滿して事業に染指せんとせば其奏效は質に容易ならざるが最近我軍人中には日露戰後十年の滿洲に對する知識研究を以て水田經營に素志を懷き機會を得ば直に移りて以て農業經營に從事せんとせる向あるやに聞く而して年々數百人宛を出だす滿洲守備滿期兵は從來滿期後多くは滿洲に止まり夫々就職し來れるも其結果は香ばしからざる者あり又鞍山製鐵所開始と共に滿鐵會社と守備當局者間に協定の上國家的觀念より昨年滿期兵三百餘名を八幡製鐵所に送り職工養成を計畫したるが內地景氣の活潑なるに伴ひて却て惡影響を蒙り僅か一年未滿にして退身する者續出し結局當初の目的は大失敗に歸したる者の如し如是にして年々の滿期兵處置には當局者は多大の苦心を拂ひ居るを以て該滿期兵をして新たに滿洲に於て農業に從事せしむるの途を與ふれば寧ろ好結果を得るに至る可しとて目下在滿上級將校中之れが計畫を進捗せしめんと欲する者二三にして止まらざるが如し

◎開灤淄川兩炭 其の需給豫想

▲開灤炭 の大正五年度出炭二百九十萬噸餘の中海外に輸出されたるものは四割强の百二十四萬二千噸なるべく其他は主として地貿並に炭坑所在地附近の消費に充てられたり然るに大正六年に入り印度濠洲炭の輸出杜絕日本炭の輸出減等により東洋市場に於ける開灤炭活躍の機會に遭遇したる結果六年度上半期の出炭高約百四十二萬三千噸にして地貿七十萬七千餘噸輸出六十八萬二千餘噸となり前年同期に比し出炭に於て十三萬五千噸輸出に於て五萬八千噸を超過しかも五年度末の貯炭高二十二萬五千噸なりしもの六年度上半期終に於て二十萬三千噸を示したるに見るも益々需要の增加しつゝある事を推知すべし而して大正七年の供給豫想高は日本五十萬噸朝鮮十六萬噸馬尼剌十五萬噸香港廣東二十五萬噸上海臨州廈門汕頭六十五萬噸地貿百四十萬噸船舶用二十萬噸を重なるものとし其他を合し總額三百四十萬噸なるべく同炭礦の出炭全能力四百萬噸に比し猶ほ餘裕あるを知るべく我が撫順炭にとり海外貿易上の勁敵たるべし

▲淄川炭 山東鐵道の經營たる淄川及び坊子炭礦七年中の出炭豫想は淄川炭四十四萬九千噸坊子炭三萬六千噸にして六年末の貯炭を合し約五十一萬三千噸の供給力を有する筈なるも山東鐵道及び諸官衙用として約十二萬五千噸を控除し且七年末持越炭を六年末と同じく見積る時は殘高約三十六萬噸を地貿及び輸出に振向けらるゝ筈なりと

◎支那の金銀出入

千五百十六年中支那の金輸入額は千九百八十萬三千百十七兩にして此內三百四十六萬三千九百四十兩は米國より上海に輸入せられたるが其輸出額は八百十萬二千二百六十八萬兩にして輸入よりも少なき事一千百八十萬八百四十九兩なり而して右輸出額の內六百一萬八千四百八十八兩は香港及澳門に輸出せられ大概支那人の手に留まりたり又銀の輸出額は輸入額よりも多きこと二千八百六十七萬八千百六十二兩にして多く歐洲印度浦鹽等に輸出せられたるが同年年初上海各銀行の現銀在高は紋銀三千九百四十三萬九千兩弗銀千七百五十萬元にして年末には兩銀二千二百十五萬九千兩弗銀一千四百五十五萬元に減少せり尙最近五年間に於ける金銀輸出入高は左表の如し

金銀出

	金	銀
一九一二年	[illegible]	[illegible]
三年	[illegible]	[illegible]
四年	[illegible]	[illegible]
五年	[illegible]	[illegible]
六年	[illegible]	[illegible]

金銀入

	金	銀
一九一二年	[illegible]	[illegible]
三年	[illegible]	[illegible]
四年	[illegible]	[illegible]
五年	[illegible]	[illegible]
六年	[illegible]	[illegible]

◎生徒貯金激增

近來一般貯金思想の向上に伴隨し內鮮人の貯金額年々增加の趨勢を示し來り殊に平安南道各學校生徒の義務貯金は著しく其數に於て激增し向後尙ほ好成績を豫想し居れり今各學校の貯金成績を見るに內地人側小學校十八校在學兒童二千百六十六名に對する貯金人員八百六十一名此貯金額現在二萬六千二十八圓五十一錢九厘卽ち昨年三月末に比し四千二百十七圓餘の增加を示し一人平均額は三十圓二十三錢餘の多きに達せり之等は主として父兄より

▲兒童の將來 を思ひ學資金として貯蓄せるもの多く其他は學用品等の節約より生ずるものなり斯して右の內貯金額の最も多きは平壤尋常小學校の一萬二千八百七十八圓を筆頭に鎭南浦の六千六百二圓餘之に亞げり亦一人平均額に割算せば新里公立尋常小學校の七十圓餘を首位とし安州の四十九圓餘、鎭南浦の四十八圓餘、江東の四十七圓餘、平壤尋常小學校の四十四圓四十錢等其順位を保ち居れり其他公立簡易商業專修學校の二十四名に對する六百八十五圓二十錢、平壤、南浦兩高等女學校の八十八名九千十九圓三十五錢一人

▲平均百二圓 四十九錢餘の多きに上り居れるが之等も學資金積立或は結婚費用等を貯金するものにて漸次に增加の傾向を示し來れり、更に翻つて鮮人側を見るに普通學校四十一校にて貯蓄人員四千五百九十九名、貯金額六千四百四圓九十錢餘一人平均一圓三十九錢七厘にして之等は前年に比し甚しく增加せし模樣なり尤も

▲鮮人に於て も父母より支給せる小使錢或は學用品等を節約せると一面學校より賞與として與へしもの及び學校農園、實習地收穫、課外作業の收益等を貯金せるが要するに鮮人にして斯く該思想の發達せるは洵に喜ばしき現象と謂ふべし尙ほ右の外實業學校五校六十五名、二百九十五圓十三錢五厘、總計貯金四萬二千四百三十三圓十七錢此人員五千六百三十七名、一人平均七圓五十二錢八厘を算し居れり（平壤）

◎米穀課稅問題

大正六年九月京城に於ける穀物大會席上に於て動議せられたることもありたる大小豆小麥等の課稅價格の件に就ては爾來益々運輸機關の發展と共に全鮮各稅關の集散繁となり價格の不統一及び月每に價格の變動あるは不便繁雜少からざるを以て今回總督府に於ては之れが統一を企圖し課稅價格決定の方法を改め各稅關及び支署出張所を通じて最近既往一箇年間に各輸移出地に於ける每月の等級別數を乘じたる價額の總計を前記一箇年に於ける輸移出總石數にて除し得たる一石當平均市價を以て各稅關に於ける將來六ケ月間の課稅價額を定め之に約二ケ月間の豫備期間を置くことに改定したり而して右計算に基き算出せられたる課稅價格は

▲大豆 一石當り 八圓二十二錢
▲小豆 一石當り 七圓九十七錢
▲小麥 一石當り 八圓五十七錢

而して右の課稅價格は本年三月一日より八月三十一日に至る六ケ月間の課稅價格にして爾後每六ケ月每に其の率を變更する者なるが本年二月末日迄は依然從前の各港場に於ける市價を標準として決定することゝ勿論なりと因に釜山に於ける昨年一月より十二月に至る平均課稅價格は大豆九圓二十錢、小豆十圓五十一錢、小麥八圓九十四錢なりし爲め一般當業者にとりては最も利便多き事となりたり

◎棉花とアンペラ

近時棉花の著しく騰貴せる結果平安南道に於ける輸移出亦旺盛を極むると同時に之が梱包用たるアンペラの需要も著しく增加し相場[illegible]

◎撫順炭と平壤

燃料暴騰を告ぐるや平壤市內に於ては撫順炭噸二十六七圓を稱へ未だ嘗て見ざる高價となりたるに反し平壤より稍や近き京城仁川、大田、大邱、釜山各地に於ては同炭の相對的低廉なる事實を傳へ居れるを以て平壤在住民中往々商人の暴利を貪るものとし誤解し之に對する批難の聲漸く昂く今や物價調節問題の惹起せんとするの傾向あるに際し探聞するところに依れば該炭の市價昂騰は時勢の然らしむるところなるも尙鮮各地に比し高價なるは同炭礦會社の販路擴張方針の結果茲に內地炭との競爭を見るに至りたるを以て比較的內地と接近せる釜山、大邱地方へは內地炭の侵入も多く隨つて運賃上より打算するも相場廉價なる爲め撫順炭も之が對抗策として賣價を下げ大いに此方面の販賣を行ひ居れるも順次西鮮地方に進むに隨ひ輸送上運賃關係よりして內地炭も中途の相場より割安の販賣を行ひ居れるも撫順より平壤迄の運賃を加へ心點たる平壤を見るに伴ひ撫順炭も制定相場に復し結局現時の市價に相當するの已むなき狀態を呈するものにて決して商人の暴利云々に起因せざるや明かなりと

[illegible]を爲す規定なるが從來入學志願書に原籍地市區町村長の與書證印を要し爲に期日に至り往々行違を生ずる[illegible]地府尹面長の與書證印にて可也と[illegible]

◎連絡船上陸客

十日午前釜山入港高麗丸一二等客 [illegible]

◎佃氏事業計畫

滿鐵理事を退任せる佃一豫氏は退任後も大連に留まりて或る事業を經營すべく目下計畫中なりと

◎札倫諾爾炭鑛大火

外蒙古札倫諾爾地方某露人經營の炭鑛は出炭量甚だ豊富なるも炭質撫順炭に及ばざる爲めに販路狹少なりしが近く大火災を起し損害頗る巨大にて人畜の死傷亦尠からずと

◎隈部總長微恙

關東都督府隈部警務總長は舊臘俄かに發熱し以來捗々しく恢復に至らず目下靜養中なり

◎大連より

○大連の正月は案外に温かであつた、松飾が全く廢止されて居るので何處やら正月らしくない處もあるがそれでも平常に比べると市中はずつと賑かである○お正月の大連市中を賑やかすのは大連の人達よりも沿線から出て來る滿鐵の社員の家族が多いやうだ滿鐵の社員も昨年末から年末賞與だの特別賞與だの增給だので思はぬ收入があつたので非常な景氣だ○聞く處に由れば近かく滿鐵は更に職員以上の社員に四割の增俸をするといふ話だそうだ結構な事である○朝鮮銀行支店が正金から引繼いで國庫は支店の裏手吉野町通りの横手に置かれる事になり守備兵も一日から金庫の警備に來て居る國庫事務の引繼は金券引繼ほどに世間の注意を惹かなかつた金券引繼の際は問題が急轉直下であつたが國庫の引繼問題は十一月末から發表されて居つたから市中で金券の際ほどに問題にしなかつたのであらう○大連市が大正七年中に成すべき事業は多くあるが、それと同時に大連市が益々市街としての美觀を揮するであらう之れを大廣場の內に見るも通信管理局、市役所の完成するあり其他市內にも幾多の建築が計畫されて居る○東拓大連支店の特貸は七年度上半期中には大連市に對する最初の豫想額の半以上の貸出を爲し得べき見込みであると共に一月早々から銀行の手を經て普蘭店を中心として關東州內の支那人農民に對する低利農業資金の貸出を開始した

腦病と人の運

諸君は如斯して不快なる腦神經衰弱を治療して多幸なる運命を開拓せよ

▼頭痛のする人 人は自分の運の好い惡いを神樣か何かの力であるやうに思つてゐる之れは大きな誤りであつて人自身が自分の運の神樣なのである、だから腦の神も貧乏神も其人の中に住んで居るのであつて決して他にあるのではない[illegible]

▼飽きつぽい人 [illegible]

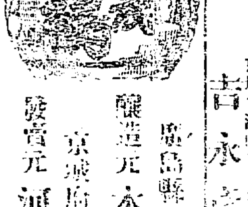
▼記憶の惡い人 醫學士常持爲治氏は此二冊の腦病治療書を廣く社會に頒布してゐるがそれは何故であるかと云ふに、つまり今云ふ世の『運の惡い人』を救ふために外ならないのだ、同氏は其半生を費して苦心慘擔たるの結果有名なる健腦新劑レーンを發明した[illegible]

▼夜眠れぬ人 腦神經衰弱の症候の中で最も苦しいのは夜眠られない事である[illegible]

▼優柔不斷の人 [illegible]

昨夜出火の節は早速御見舞に預り有難奉存候混雜中のこと故御芳名御伺ひ漏れも有之候事と奉存候に付此段紙上を以て御禮申上候
大正七年一月十一日
京城[illegible]
內外[illegible]麻社

昨夜出火の節は早速御見舞に預り有難奉存候混雜中に御座候間乍略儀紙上を以て此段御禮申上候
大正七年一月十一日
京城竹添町[illegible]
吉永[illegible]太郎

優等清酒


廣島縣西條町
釀造元 木村靜彥
京城府鍾路[illegible]
發賣元 河野酒店

旅行用具一切
朝鮮特產 ワンダル製鞄
專賣品 柳製鞄
毛布一枚縫[illegible]
東京製鞄各種
防水布マント各種
寬法瓶及中瓶取[illegible]
鞄製造販賣
京城本町一丁目
高木旅行用具店
電話一二三四番

醫化器械
仁川本町 北島藥店 電話三三四 振替京城六七番
京城永樂町本町角 北島藥店支店 電話七六一番

(K) 藥種賣藥卸商

內科 眼科 小兒科
京城黃金町三丁目赤門通(電車停留所前)
本田醫院 院長 本田建義
附屬 京城肛門病痔疾療院
肛門病の入院隨意 特種注射根治療法解說書入用の方郵券十二錢要す
電話二四四三番 振替京城三二八番

內用精効能
○胃腸病○神經衰弱○結核症○肺病○老衰○健忘症○喘息○痔疾○腦病○婦人病一切○營養不良より起る諸病其他諸病後衰弱に對する滋養强壯劑
外用精効能
○神經痛○火傷○切傷○腫物○凍瘡○打撲○筋の張る時
人蔘エキス定價 [illegible]
朝鮮高麗人蔘直取引商 京城本町二丁目(郵便局前)
人蔘エキス本舖 津村兄弟商會
顧問 藥劑士 [illegible]
支店 津村商會支店 龍山支店 大邱支店
其他全道の藥舖にて販賣致居候萬一無之御地方の方は直接本舖に御注文次第速に發送可仕代金は振替に依る事最も安全且便利に御座候本店支店共市內は御一報次第配達

外科一般 內科花柳病 小兒科婦人科
京城南山町二丁目（電話三〇六番）
宮崎醫院

左甚五郎

第百二十五席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

瀧五郎の女房は夫の顔色が惡いが喧嘩でもして來たのではないかと思ひ はる『間違でもして來たんじやアないかね、お前さん』 瀧『何に別にねえ事が始まつたといふは、惡う〳〵いふ一件、何分打捨つちやア置けねえ。間違へば頭梁の身に係はる大事、俺が一身に引受けて埒を明けるつもりだ、就ちやア、俺が死んだ跡で何うかお前は兄貴の處へ行つて跡の始末を頼んでくれ、又俺の身の上も何分お前に頼むから』と話しをいたしますると、鬼の女房に鬼神といふ例への通り、此の瀧五郎の女房は、今市といふ所に居りまする博奕打の親分、子分の百二三十人もございます今市の藤右衛門といふ者の妹で却々確りした女、はる『然うかね瀧さん、何うも仕方がない、出來たことなら止めやアしないから、まア少しお待ち、是が今生の別れ……サア是が息ある内の水盃、一と口飲んでおくれ』と茶碗に汲んで來た冷水、瀧『手前が確りしたその膽ッ玉を見て大きに俺も安心をした、メソ〳〵出掛けに泣かれでもすると大きに俺も後のことが氣になるが流石藤右衛門の妹だ、大きに俺も安心をした』とゴックリ飲んで渡す、茶碗を受取りまして餘つた水をゴックリ飲んだおはるが はる『瀧さん、少し待つておくれ、お前に宜いお肴を上げるから』 瀧『篦棒め此の場に至つて肴も何にも入つた話しじやアねえ』 はる『イヱそれでも鳥渡待つておくれ』と次の座敷へ行つたから、何をするかと思ふ内に、キヤッといふ聲、驚いて飛んで來て見ると、三才になります利吉といふ子供、疱瘡を病つて居りますそれも餘程重いので寢て居ります其の子供を一と刺に刺殺し、返す刀で己れが咽喉へ突立て四邊は一面唐紅、血汐に染つた有樣驚いた瀧五郎 瀧『ヤアとんだことをしたじやアねえか、コレおはる、手前氣でも狂つたか、何んといふことをしたんだ』 おはるは苦しき息をホッと吐き はる『イヱ氣も狂やアしない、何うせ今の話しの樣子ではお前の命も今夜限り、又此の子とても此の樣子では助かる氣遣ひはない、一層のことに妾が手に掛け一と足先へ冥途とやらへ行つて、三途の川端でお前の來るのを待つて、然うして親子三人芽出度冥途とやらへ行く考へ、後へ氣の殘らないやう、お前の刄の鈍らないやうに是がお前への肴、些とも早く妾の首を打落し、此の首を持つて行つて棟梁に見せておくれ』 瀧『ウム、然うか流石は瀧五郎の女房だ、宜い覺悟だ、今更悔んだつて迚も此の重傷では助かりッこはねえ、倅は何うせ重い疱瘡に取付れたんで助からねえ、いつそのことに刺殺したとは能く云つた、宜し三途の川端へ行つて待つて居て呉れ、直に此の瀧五郎も後から追着いて、三途の川は手に手を取つて渡らう』と齒を喰しばつて瀧五郎、涙と共におはると利吉の首を打落し、二ツの首を風呂敷に包んで表へ飛出す、途端に彼方からワッといふ鬨の聲、見ると栗原遠江が向ふ鉢巻着物の裾を端折り、襷掛けで一刀を腰に打込み、後に續いて大勢の弟子が得物〳〵を持つて馳けて參りまする樣子、之を見て驚いた瀧五郎、往來の眞只中に大手を擴げ 瀧『親方甲斐々々しい姿で何處へ行きなさる』 栗『何に何を云つて居やアがる、手前のやうな腰拔に迚も此五郎の首を取つて來ることは出來ねえ、俺が自身に乘込んで江戸の大工を鏖殺しにしてしまふんだ』 瀧『困るじやアねえか棟梁、あれ程云つて置いたに俺が行くまで待つて居ておくんなせえと云つたら少しの間位は我慢が出來さうなもの、兎に角自宅へ歸つておくんなせえ』

外科一般 皮膚科
泌尿器科 花柳病科
院長 安部修三
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院
電話四一九番

毛皮なめし並に仕立
鳥獸剥製調進羽根布團製造修繕
京城本町二丁目
貿易商 樽元商行
電話[illegible]

歸へるぬしより
木村屋パンの
京城土産が待ちかねる
(京城明治町 電話二八七〇)

一月十三日 九星
舊十二月朔日 庚申
本命 三碧 東危 赤口
[illegible]

演藝案内

壽館 京城本町 電話一〇五〇
一月二十日より毎日午後四時開演
女流浪界の横綱 京山愛子 一行
▲己が罪(續) 京山愛女 ▲元和三勇士(續) 京山愛光 ▲山愛奴 ▲朝日山仇討 御國の花(續) 京山愛 ▲桃中軒雲廣 ▲秋田角力の遠引 ▲田毎の月(續) 桃中軒常磐 ▲豊川利生記 京山小愛昇 ▲愛子十八番の讀物 ▲水戸漫遊記(續) 京山小愛 ▲朝顏日記 宿屋の段 ▲江戸紫揚卷助六 長講二席

大正館 櫻井町 電話八七三
日本活動寫眞株式會社特約
▲富士の嵐 ▲新派悲劇『樹の間の月』 ▲宮地中海グラフ ▲[illegible]
[illegible]

黄金館 電話二三六七・二三六六
▲新派『鴛の巣』 ▲米國ユニバーサル會社作 探偵活劇『青外套』 ▲舊劇『宮本武藏』 ▲[illegible]
[illegible]

浪花館 明治町二丁目 電話二六〇番
一月九日より
◎東京落語春風亭柳窓大一座
▲落語(閻六) ▲落語(今松) ▲落語[illegible] ▲手踊(花助) ▲落語(若遊) ▲音曲手踊 ▲落語(柳窓) ▲大切餘興(文殿)

有樂館 早川演藝部直營 活動寫眞常設館
▲日曜祭日晝夜二回開館 ▲[illegible]
◎人情活劇『愛の勝利』(原名金檻) ▲米國ユニヴァーサル會社作
○舊劇 鎌倉三代記 三浦之助別の段
▲日米親善日出つる國 第一部第二部
○新派現代劇 此の子の親 全四卷
[illegible]

稻荷座 本町五丁目
男女合同市川團之助一座
浪花節 身振 芝居
▲前狂言 ▲切狂言 二ツ蝶々 長吉長五郎 南部坂雪の別れ

壽座 京城壽町 電話五七八番
一月十一日(替り藝題)
大阪陣 難波戰記 大序より血判取迄
神藝 矢口渡 頓兵衛住家の段
前狂言 切狂言 [illegible]

男の生殖器病

生殖器不完全、包莖、陰萎、早漏、遺精、夢精、腰神經衰弱等の人は自宅で簡單秘密に新案特許眞空療法器を使用せば速に効力現れ像想外の偉効に驚くべく二大博士も其實効を證明し實驗諸氏の賞讚湧くが如し ハガキで申込あれ圖入説明書を無代封送す
▲來所者には[illegible] ▲[illegible]にて懇切説明す
東京神田ぎち町五 東京眞空療法研究所 電話神田二二一二番

通學の諸孃の

優しき御手御顔の荒れを防ぐべく學者の創製せる美顔ユーマーあり

イケダ小兒病内科醫院
池田季雄
京城二越呉服店前へ入る旭町四丁目 電話(醫院一二三〇 自宅[illegible])

大日本優等清酒
ハクツル
品質純良 衛生無害
白鶴
醸造元 攝津灘御影町 嘉納合名會社
發賣元 京城本町二丁目廿番地 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五番

内科 胃腸病
診察夜九時迄
京城本町一丁目
石川醫院
電話一二七〇九番

絶えず
進歩向上しつつある
ライオン齒磨
其品質は常に優秀なり。
其品質は常に純良なり。
其效果は常に確實なり。
其效果は常に偉大なり。

東京本所外手町 ライオン齒磨 ライオン石鹸 本舗 小林富次郎
支店 大阪 京都 名古屋 [illegible]
(823-6)

登録商標
滋養强壯 芳香美味
蛇の目印ポートワイン

本品は最も優良なる天然純良葡萄酒を素とし有効なる補血強壯劑を配合し精製せし醇良無比の甘味滋養葡萄酒なれば御愛飲の御方は消化を助け食慾を進め血を増し肉を肥し殊に誇るべきは精力を強くする等一般御家庭に於て日常御飲用せらるべき絶好の理想的滋養強壯飲料なり

賣捌所は全國到る處の洋酒、和酒、鑵詰、食料品店及藥舗、雜貨店にあり

【類似品あり登録商標◎蛇の目印及松下善四郎に御注意被下度候】

發賣元 洋酒 食料品 鑵詰 直輸 煉乳 家庭藥 雜貨 出入商
大阪市東區高麗橋貳丁目
㋕ 松下善四郎
電話本局 一八五 長一八六 長八二〇
電信略號 マツセ 振替口座大阪 一六

汽車

京釜線(南行)	[illegible]
同(北行)	[illegible]
關釜連絡	[illegible]
湖南線(南行)	[illegible]
同(北行)	[illegible]
京元線(北行)	[illegible]
同(南行)	[illegible]
京仁線(仁川行)	[illegible]
京義線	[illegible]
兼二浦支線	[illegible]

京城日報
十二日朝刊（朝夕刊併せて八頁）
發行所 京城日報社 京城太平通一丁目
發行兼編輯人 小川三之介
印刷人 奥田直毅

第五版 大阪株式特電

△十一日後場 大阪下寄を受けて常十九圓九十五錢より八十五錢中二十圓ノ五錢安に寄九錢先丘二十圓四十八錢と七錢安にあつて七錢跡六錢と一歩

平均値段

京城日報
我國史と國體（一）
日本魂の使命と國體

我が日本民族が、上古に於て、雄偉大なる日本魂を發揮し、韓半島未開の民族を指導し、文に武に此等の民俗を綏撫し、統御し、之をして我が皇化に歸せしめたるは、今日より考ふれば恰も歷史上の奇蹟なるが如しと雖も、既に克く我が皇祖肇國の宏謨、立國の本體を研究するときは、吾人は決して其の偶然に非ざることを信ぜずんばあらず。

天皇は天孫降臨の初めより神聖にして侵す可からず。天位は神器を以て證と爲し、國體は神威を以て本とし、國民は神人合一を以て理想と爲す。人魂神魂、一致凝結して、國民性を培養し、鍛錬し、成就す。所謂日本魂是れ也。日本魂其の國體と相協應して進取活動するに及びて、天下之に加ふるもの無し。古事記に曰く。

『自今國中未だ成らざる所をば、大己貴命獨り能く巡り造る。』又曰く、『夫の葦原中國は本と自ら荒芒なり。磐石草木に至る迄、咸能く強暴。然れども、吾已に摧き伏せて、和順せずと云ふこと莫し。遂に因て言ふ。今此の國を理むるもの、唯吾一身のみ。其れ吾と共に天下を理むべき者、蓋し有りや』と。[illegible]此の國を平げんや。吾在るの故に由りて、汝其大造の績を建つることを得たり。是の時大己貴命問て曰く。然らば則ち汝は是誰ぞや。對て曰く。吾是れ汝の幸魂、奇魂也。大己貴命曰く。唯然り。廼ち知る汝は是れ吾の幸魂奇魂なることを。今何れの處に住まんと欲するや。對て曰く。吾は日本國の三諸山に住んと欲すと。故に即ち宮を此處に營して就て居らしむ。此れ三輪大物主神也。

是れ豈に我が日本魂の本源を鍾ふに足るべきに非ずや。而して日本魂の使命なるものは、如何。延喜式祝詞に云く

辭別、伊勢に坐天照大御神の大前に白く。皇大御神の見霽し坐四方國者天の壁立極。國の退立限。靑雲の靄極。白雲の墜坐向伏限。靑海原者棹柁干ず。舟艫の至留極。大海原に舟滿都々氣て。陸より往道者、荷緒結堅て、磐根木根履佐久彌て。馬爪の至る限。長道間無く、立都々氣て。狹國者廣く、峻國者平く、遠國者八十綱打掛て引寄事の如く、皇大御神の寄奉け、荷前者皇大御神の大前に、横山の如く打積置て、殘をば平聞看。又皇御孫命御世を手長御世と、堅磐常磐に齋奉、茂御世に幸奉故、皇吾睦神漏伎、神漏彌命と、宇事物頸根衝拔、皇御孫命の宇豆の幣帛を稱辭竟奉くと宣。

是れ豈六合を兼ね八紘を掩ふ、肇國の宏謨にあらずして何ぞや。此の國民性あり、日本魂ありて、此の國體あり、此の宏謨ある、洵に偶然ならざる也。

靜閑なる新年
蘇峯生

大正七年正月元日、青山艸堂に於て、今歳九十の齢を迎へ給へる母上始め一家打寄り雜煮を喫し、予は烏打帽を被り、飄然として逗子老龍庵に赴けり。父上在せし時は、何時も此處にて、新年の式事を行ひしも、今はその事なく、唯だ老松の下、衡門を掩ひ、旭旗のみ、殆んど申譯ばかりの如く、挿みありしのみ。途中にて留守居の男に出會したれば、彼に門を開かしめ、觀瀾亭に上り、先づ新年の富士山に挨拶し。更らに爲す事もなければ、直ちに縁側なる籐榻の上に、午睡を逞うせり。

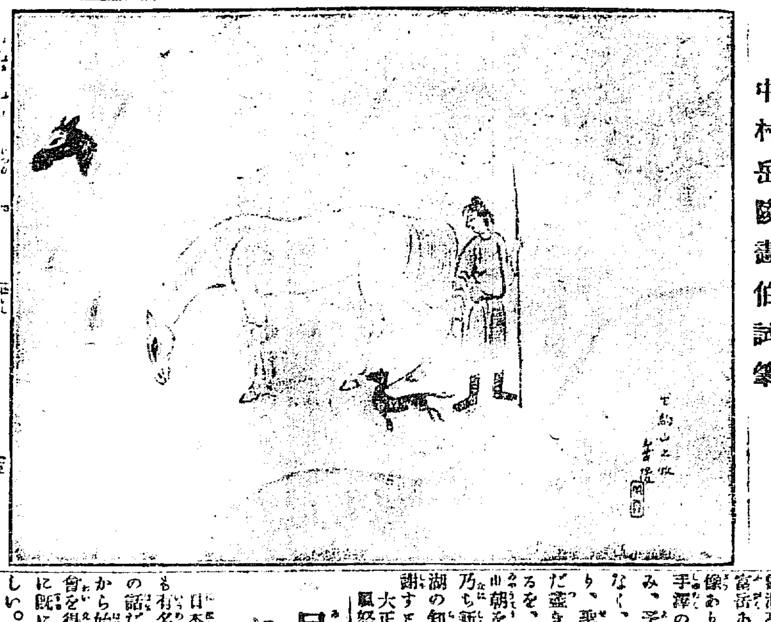
笑迎五十六新年。身後身前附等天。點檢心頭無一事。老松高處掩門眠。

[illegible]日の午後家族來りて、四日の午に去れり。然も予は僻性今日迄在しつゝある也。予は最近十年未だ今年の正月の如き、閑靜なる正月を迎へたることなき也。心頭強ひて自から一事無からしめたるにあらず、全く無きが故に、是れ無きのみ。

觀瀾亭は櫻山を背にし、相洋に面して立つ。即ち北西は小坪岬より、西南は鳴鶴岬に到る間に、海面展開す。而して小坪岬と海上相對して、近く天女の髻の如き繪島あり。其の上に、巨人の如く、高く富士山は聳ゆ。此を起點として足柄山、二子山、金時山、天城山等箱根、伊豆の諸山逶迤重疊として起伏相連る際に、稍く西を過ぎて、南に偏する所に、伊豆大島の烟を望む。所謂る黄山谷が、『天開圖畫即江山』の句は、宛も我が觀瀾亭の爲めに作りたるものに似たり。

觀瀾亭の上に在れば、臥ても起ても、富士を相見ざるを得ず。頼襄は『東山如熟友』と歌ひしも、予は富士を斯く云はんのみ。而して

四時の景同じからざる如く一日の景亦た、殊なるものなからず。老龍庵は東南櫻山を負ふが故に、朝寢坊の天國也。世間已に三竿の日あるも、未だ陽光を望む能はざる也。即今に於ては、午前六時半に、漸く曉明を覺ゆ、當面の富嶽は、已に淡き朝靄の裡に、其の淸姿を現はしつゝあり。已に七時頃となれば、初陽の光は、半峰以上に反映して、紫芙蓉となり、纏て又た橙色芙蓉となり、愈よ其の輪廓の益々明にして、色彩の絶際を極むるに到る。江川坦菴の句に『里はまだ夜深し富士の初日の出』と。予は此景に對する毎に、何時もながら、此句を欣賞するを禁ずる能はず。



中村岳陵畫伯試筆

斯くて旭光の、我が觀瀾亭の南偏の縁に射り來るは、九時前後にして、此れより四時前後迄、縁と云はず、床と云はず、室内一面藹々として照り附くる也。されば大寒中と雖も、晴天にてさへあれば、暖爐は勿論、火桶さへも無用にして、羽織なく、足袋なく、觀瀾亭の縁側に在れば、ぽかぽかとして、十分の日光浴をなし、言明し難き快感を生ず。此際に於ける午睡は、何物とも交換し難き甘味あり。

其日の天氣模樣によりて、一概に云ひ難きも、先づ十時頃より薄き雲片、富士の七八合目にかゝり、正午頃には其の全身を掩ひて、薄紗に包みたるが如く、時としては全身白雲中に沒するもあり、或は半身、或は三分一身を沒するもあり。而して午後三時頃には、再び何處にか雲飛び散りて、其の輪廓漸次鮮明となりつゝあり。四時頃に到れば、夕陽に反映して、再び紫芙蓉となり、而して更らに金色芙蓉となり、之を初陽の時に比すれば、其の色彩の微妙、莊嚴は、倍從するものあるが如し。

予は新年無事の爲めに、我が觀瀾亭上より、夕陽の美景を賞するの機會を得たり。夕陽漸く下りて、先づ相洋の海波を射り、其の周圍の雲に、各種の彩色を傳へ、宛も御來迎の圖に髣髴たる、七寶莊嚴の雲色波光の裡に、紅輪は悠々として執り降る也。而して其の水平に近く刻一刻に、其の色は鮮紅を加へ、全輪の時には黄金色をなしたるもの、半沒の日となれば猩紅色となり、途に血色となりて、全く沒し去る也。而して富岳の色彩も亦た、此の光線に反射して、刻々變化し行く也

古人曰く『夕陽無限好。只是近黄昏』と。然も黄昏の光景は、我が觀瀾亭の最も誇りとする所也。蓋し日出の晩きが如く、日沒亦た晩く、而して日沒後の暗色、留連返照して容易に去らざれば也。即ち富岳は、宛も日出前の光景に立ち返り、暮霞の裡に立つ也。朝霞暮靄、殆んど擇ぶ所なき也。若し此際に於て、時計なくんば、其の日出前たり、日沒後たるの分別なき也。

『英雄回首便神仙』大人の行藏は、即ち小兒也。太陽は水平に沒し、鳥は塒に還り、炊烟は附近の家根より颺る。此の世の中に取り殘されたる富岳、獨り巍然として寂寞、幽邃の天地に立つ。彼獨り時間の觀念なきものに似たり。予は翹頭佇立して、此の靄色を凝らしつ[illegible]相對して、更に我が顧久[illegible]打向ふ心地する也。

觀瀾亭上何物もなし、欄外には富岳あり、簷間には淇水老人の肖像あり。而して架上には淇水老人の手澤の爾雅と、予の愛讀書若干のみ。予此の間に起臥して、思ふ所なく、煩ふ所なし。寒冷の逸民たり、聖代の布衣たり。但だ塵縁未だ盡きず、半俗半仙の間を浮沈するを、憾みとするのみ。予正に明朝を以て、東京に還らんとす。乃ち新年生活の一斑を記して、江湖の知友に諗げ、敢て疎懶の罪を謝すと云爾。

大正七年一月六夕、觀瀾亭上西風怒號の聲を聞きつゝ

民間說話に於ける馬（七）
田中雪人

日本の天馬若くは神馬傳說で最も有名なのは信濃の駒ケ嶽の天馬の話だ。元來此傳說は何れの時代から始つたか自分は未だ調査の機會を得ないが、少くとも德川以前に既に其傳說は存在して居つたらしい。織田信長は嘗て此天馬を狩捕らうと企てた事がある。然も其馬は當時既に四百年來駒ケ嶽に住んでゐるのだとの傳說が三季物語に記されてゐる。此馬は皓々とした雪の如き驄駒を以て高山崇嶽の間を飛行し、夏猶ほ寒い高嶺や谿谷の雪の積むところを住家として人間に見らるゝを厭ふと言傳へられる。元來此傳說は人間が崇高なる山嶽に對する時、人間の想像に自然に發生すべき性質のものであるから、世界に類型のものが甚だ多い。それらの話は支那や印度歐洲の傳說を述べる際に讓ることゝするが、此信濃駒ケ嶽の天馬は何時頃よりか更に善光寺の阿彌陀如來の信仰に結付けられて言傳へられてゐる。即ち此馬は十二月の二の申の日に、阿彌陀如來を乘せて雪埋む駒ケ嶽の神秘境から天空を驅つて善光寺に向ひ、境內の駒返橋まで如來を送つて來てそれから歸山するといふのだ。駒ケ嶽の名も此天馬に依つて起つたのだと言傳へらるゝが、此命名說その者がやはり一つの傳說であらう。更に此俗說を助ける今一つの話が新著聞集に見ゐる。其に依ると寛文の頃に尾州の人が此嶽に登ると、形恐ろしく眼は日月の如く耀いた栗毛の馬が現れ、驟て雲霧の與に姿を隱してしまつたといふのである。此等は何れも天馬が自在に飛行して行く話だが、之れを少しく趣を異にしてゐるものがある。即ち天馬が飛行するを信ぜられながら概ね一所に定着して其形が現はす話である。之れは自然現象に密接に結付いてゐる傳說で、其一つは陸前の北邊駒ケ嶽に關するもので、今一つは陸中羽後の國境の駒形山に就て傳へられる話であるが、兩者とも山上に積んだ冬の雪が解けて一部分馬形の白い斑を遺すので、其の傳說は別樣になつて現されてゐる。陸中の方では其馬形はむかし或神が南部の方から馬で越して來たが、こゝで乘捨てゝ歸つてしまつた。馬は主戀しさ故郷戀しさに、南部の方を振顧つて悲しさうに嘶いてゐるのだ『郷土研究一の九、五六六頁』といひ、陸前の方は又、其馬が東の空に向つて、蹄を振立てゝ駈行く樣を眺めて、凶作の年にはあれは陸前の秣を食つて肥料を西の秋田に落す姿だ。あれでは陸前の土が肥る譯が無いと歎息するので、又豐年には、今年の馬の姿は何うやら威勢が好い樣だと推斷してゐる（郷土研究一の八五、〇六頁）何れにしても天然現象を變化して斯く一つの傳說を造つてゐるのである。理性の判斷が更により多く加はつて來ると、山名と馬とを地理的に聯結させて其由來を說いてゐるのがある。即ち若し山に馬形の岩石でも有るとか、又は山の禿げ工合が何處か馬に似通つてゐる時に、其事質を根據とし命名したのだとする類或は又前記の雪の斑に、何等の信仰を附隨せしめず、唯かゝる雪形がある故に山名の出來たのだといふ類もある。これは全國の駒形山とか駒ケ嶽といふ種類の山には槪ねその話が生れてゐるので、駒の名の付く山が非常に大部分を占めるのは白い現象である。信濃の駒ケ嶽なども其兩方何れにも當する一例で、其側には馬形の大岩が有り、又雪消の時の斑に一度馬形に現れるといふ話だ。

どうして
布施生譯
三十七

氣位の高い人ではあるが武烈氏は元來輕蔑と云ふものを持たぬらしい。話して居るにしても此場合それを現はす程躾のない人では無かつた。暫くすると愈々穩かに『成程さう仰有れば先日三阪通で或る娘に會つて話をしましたよ。しかしあれが此家にゐた娘だとは其時は勿論知らず今でも充分證據が無ければ信じやうとも思ひません』と言つたかと思ふと今度は聲の調子を變へて『何かな警察では私に探偵でも附けてお出でかな、あんな街であんな娘と話をした事がお目に留つてしかもそれ程御記憶になつてゐる所をみれば』。武烈氏がつけ〳〵言ふのを阪は事ともせず『御主人』と重々しく呼懸けて『御自分の不注意の爲に相當の嫌疑が懸つたのです。何も此場合尾行された位を[illegible]く仰有る事は有りますまい』

默つて此問答を聞いてゐた國栖は思はず千畝と怒鳴つて手を叩きたい程に喜んだ。武烈氏は蛇ではなりながら、色青褪めて、一寸探偵長に眼を落したと思ふと直に其眼を國栖に移して『ふん、ちやあ尾行したと言はれるのぢやな』阪は騷がず『お氣の毒樣、しかしさうも已むを得ません』『答はすましたるのであつた

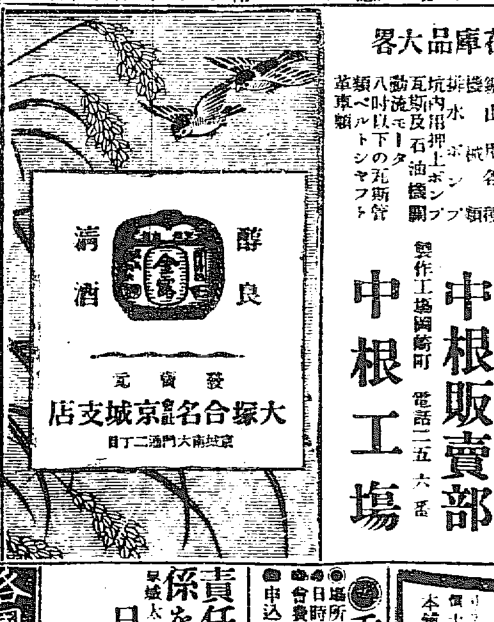
武烈氏は愈々青筋立てゝ、今度は國栖を見据ゑながら『市の中ばかりか郊外まで尾行て歩いたのぢやな』『或は國栖の答を引取つた『左樣です御主人、貴下は最近ある獄者を訪ねやうとなさつたさうですね』武烈氏は溜息つきながら一渡りずらりと其美しい應接室を見廻し次で其眼を部屋の片隅に懸けた先代の肖像に移してさて徐かに椅子を進めた『宜しい、君方の嫌疑と云ふのはどう云ふ嫌疑かな、さあ承りましやう』言はれて探偵長の顏には嬉と一時に血の氣が上つた、思ふに嫌々考へてゐたのとは大分調子が違つたのであらう、『失禮作ら御主人、私共は只今別段嫌疑の有無は問題にして居りません、私共は只先日貴下がお話對手になさつた女が死んだと云ふお報知を持て上つたばかりです、そして貴下から其女に就て何か私共が檢視官に申立てる種が有りはしまいかとお伺ひに參つたのです』

今回中根商會を以て朝鮮全道の代理店たらしめ候間何卒當社同樣御引立被下度奉希上候
東京鋼機株式會社

當商會儀今回東京鋼機株式會社の直輸入及取扱に係る鑛山用八角鋼類一切を朝鮮全道代理販賣可仕候間本社同樣の御引立を蒙り度偏に奉希上候
當分の間毎月五頓內外より入荷不致候に付多數御入用之方稅商品及保稅品とも豫約被下度奉願上候

在庫品大略
汽罐 各種
鑛山機械 各種
機械用 各種
排水用ポンプ
坑內用押上ポンプ
瓦斯及石油機關
動力モーター
八吋以下の瓦斯管類
ベルトシャフト
革車類

京城南大門通五 電話一〇四番
中根販賣部
製作工場岡崎町 電話二五六番
中根工場



資本金 二三、七〇〇、〇〇〇圓
積立金 一一、三〇〇、〇〇〇圓
諸預金 一八八、〇〇〇、〇〇〇圓
株式會社 第一銀行支店
支配人 西村道彦
京城府本町二丁目（振替貯金京城一一番）

◆恒例の新刊 製本出來 本日著荷◆
大正七年 國民年鑑
四六版八百頁 定價金六拾五錢 郵稅八錢
我が國民年鑑は今や事實に於て日本に於ける唯一の年鑑となりて何者も企及し得ざる權威と勢力を有す內容の豐富統計の精確巧妙の編輯とは年と與に愈々出で愈々妙を極め世界最新式の年鑑として好評天下に遍し而して定價の奇蹟的低廉なるは是れ本社の江湖に酬ゆる微意より出づ請ふ倍舊の愛用あらんことを
發行所 民友社
朝鮮發賣所 京城日報社代理部
取次所 大阪屋號（京城太平通一 電話三〇〇番） 巖松堂 ウツボヤ書店

日本に於ける唯一の年鑑を見よ！

各國洋酒 洋菓子 干葡萄 洋食品 問屋
京城本町二 古城前 大橋商店 電話一九六五番
京城齊藤町二 大橋 輸出入部

恩給年金低利立替業務開始
京城南大門通五丁目一三番地 大阪社岐阜屋出張所 電話一五一七

責任附有給外事係を招聘す
日本公債株式會社朝鮮支部
京城太平通二丁目（大韓門前） 電話長一六〇二番

香川縣人會
◎場所 南山町楊の家（千代本跡）
◎日時 十三日午後五時
◎會費 一圓五十錢（御持參の事）
◎申込所 旭町一丁目 本町二丁目

◎イ市温和派大敗す
▽在留邦人危難

イルクーツク市の温和派はクラスノヤルスクよりの過激派砲兵隊應援の壓迫を受け勢力失墜し過激派は今や勢力七千に達し温和派は哥薩克及び士官を合し約二千に過ぎず二十九日の衝突の結果温和派大敗し日本人中にも掠奪に遭ひ砲彈を家屋に見舞はれたるものあり引揚に困難せる模樣なり（東京特電）

◎哈市過激派陰謀

哈爾賓過激派の最硬派は東滿沿線に侵入し露國内の獨逸間諜と連絡し陰謀を企て日支官憲は目下嚴重警戒中なりと（哈爾賓電報）

◎王總理辭職申出
▽段芝貴を推薦

王總理は十日最後の辭職を申し出で後任に段芝貴を推薦せり但し辭表は未だ提出せず總統は段祺瑞氏と協議の上決定せんとしつゝあり（北京特電）

◎總統討伐令公布か
▽王總理態度曖昧

陸軍總長段芝貴氏は九日馮總統に謁見し時局既に武力解決を要求する逐に總統令を公布して南方との開戰理由を聲明すべし然らずんば命に從はざらんと依りて總統は王總理の入府を求め三名鳩首密議を凝せるが總理は事軍事に關するを以て宜しく大元帥と陸軍部にて處理す可しとて態度を曖昧にし責任を回避したる結果議決せずして散會せり然れども總統は漸く討伐令公布の餘儀無きを覺悟せる如し（北京特電）

◎軍器購入問題進捗
▽南方討伐に利用？

段内閣瓦解の爲め一時頓挫し居たる日本軍器購入問題は最近復活し目下交渉進捗しつゝあり政府は之を歐洲派兵用と爲さん計畫なるも若し南北開戰せば之に流用するも測り難き模樣なり（北京特電）

◎天津會議の決議

北方督軍に依りて開かれたる天津會議決定事項左の如し（北京特電）

（一）討伐令發布の事（二）段芝貴（其實段祺瑞）を總理に任命する事（三）李純革職の事（四）參議院を約法代議機關たらしむる事（五）陸榮廷懲罰の事（六）漢口を兵站總部と爲す事（七）軍費及軍器調達の事（八）更に北軍十萬の兵を募り師團を增設する事

◎調停の豫備會議

南北調停豫備會議の爲め各派代表者漢口に集まれり（北京電報）

◎張繼渡日

張繼氏は十日出帆の熊野丸にて日本に向ひたり（上海電報）

◎安東總督神戸發

安東總督は十一日神戸發歸臺の途に就けり（神戸電報）

◎驅逐艦樺進水

佐世保にて建造中の驅逐艦『樺』は十五日無事進水せり（佐世保電報）

◎下村民政長官

下村民政長官は十一日商船香港丸にて[illegible]

■栃木山に黒瀬川

は黒瀬川差手に左を差せば栃木右を[illegible]と見せて大戸の地ふる所を出し投げ見事に極る

△中入後

[illegible]下ぼて喰ひ下り綾の寄道むを上手外掛けに防ぎつゝ切返して軍扇は[illegible]投ねて玉手の勝■大門若に彌高山 高に上りしも物言ひついて結局丸[illegible]預かりとなる■對馬洋に柏戸 は[illegible]て突き進み駒が土俵を廻り彈いて逃ぐるを附け入りて突き出し駒が土俵を割つてのち伊勢も又土俵を割つての勝は伊勢のため危[illegible]

◎三十四銀行 增資

三十四銀行は二千五百萬圓に增資せり（大阪特電）

[illegible]門司着福岡へ向ひ一泊の上十二日引返し下關山陽ホテルへ投宿十三日安東臺灣總督を待ち受け同日午後東上す可し（門司特電）

◎王世子殿下奉迎次第

李王世子殿下奉迎次第を聞くに左の如し

▲十三日午前九時 釜山棧橋御著是より先き昌德宮德壽宮よりの御使其の他係員御出迎ひ申上ぐ御船の際本船迄御使及び武藏事務官御出迎をなし貴族其の他は棧橋にて上陸御出迎をなす筈なるが棧橋より武藏事務官先導御徒歩にて鐵道ホテル著休憩中貴族及び在釜山の主なる官民等を接見せらるべし

▲午前十時三十分 釜山驛發車午餐及び晩餐は汽車中とす

▲午後九時 南大門驛著東御者の際はプラツトフオームに於て總督李堈公殿下以下御出迎の親任官に御接見の後國分次官の先導にて出迎者の各御待受の場所一巡御挨拶あり暫時貴賓室に休息の上德壽宮に向はるゝ筈なるが當夜は混雜を防ぐ爲め御出迎者は著車十分前に左記所定の位置に堵列せしむべしと

（一）プラツトフオーム特別待合室通路より列車に向ひ右側は朝鮮貴族、陸軍將校（佐官以上）愛國婦人會役員、民間代表者、新聞記者

（二）同右側は勅任文武官、外國領事、奏任文官、李王職員（判任以上）赤十字社職員及び特別社員

（三）一般御出迎者は驛前より南大門に至る道路に堵列すること

尚ほ當日奉迎者の服裝はフロツクコート又は同相當服に限り又右名刺受附所を貴賓室廊下に設置しあれば御出迎者は名刺を受附に差出すべしとなり而して殿下の南大門驛より德壽宮までの御乘物は馬車なりと

▲午後九時三十分頃德壽宮御著の際は先づ德弘殿玄關より成寧殿に參進太王、王、王妃各殿下に御對顏あり此の時三鞭の盃をあげ菓菓を參らせ了りて石造殿に著かるゝものなり尚同日昌德宮に於ては殿下は午後五時三十分御出門德壽宮に赴かれ同十一時發還宮せらるべしと

▲十四日午前十時三十分、成寧殿に伺候同四十五分德壽宮出門同十一時總督官邸を訪問され兩陛下に御機嫌伺ひの電報を御依頼あり午前十一時二十分頃總督官邸發昌德宮參候、樂善齋内殿に參入あり王及び王妃兩殿下に御對顏あらせられ夫れより午後零時三十分宣政殿に於て賜餐を召され此時陪參の人々は兩宮勅任官ニ王世子附職員、贊侍、陪武官一名にして献立は西洋料理と三鞭酒（食單紙製）なりと午後二時、仁政殿玄關より御發李堈公邸訪問の上馬車にて德壽宮石造殿に歸還せらる午後三時、石造殿に於て長谷川總督、山縣政務總監、松川軍司令官、立花師團長、同三十分同所に於て御親戚朝鮮貴族、李王職員に接見せられ午後六時より晩餐會の御催しある筈

◎北鮮と裏日本の連絡
日本海横斷航路の開始と貨物
遞信局海事課長　伊藤定弘氏談

日本海横斷航路補助費は既報の如く大正七年度總督府豫算に計上せられ居り今期議會の協贊を經れば來る四月より朝鮮郵船にて

▲千噸級船 二艘を就航せしめ清津城津元山新浦鶴及び敦賀間に一箇月二回の航路を開く事となるべきが右に付舊臘北鮮方面に出張し横斷航路開航に對する調査をなしたる遞信局海事課長伊藤定弘氏は横斷航路と貨客に付語る日本海横斷航路を開いても北鮮と裏日本の間に俄に多量の貨物の著發を見る事は困難だが漸次增加をして行くだらうと云ふ事は予の信じて疑はぬ所である、差し當り北朝鮮方面より如何なる貨物が出るかと云ふに先づ（一）北鮮の魚類を數へねばならぬ北鮮

▲近海の魚族 は頗る豐富で將來漁獲の餘地は非常に多からうと思ふ去年元山から鮮魚の東京輸送をやつたりしたが横斷航路が出來れば多量の漁獲物を裏日本方面に輸送し而して敦賀若くば新潟鶴より内地の大市場に仕向くる事が出來る。これによつて受くる北方面漁民の利益は少なくなからう（二）には成北生氣嶺並に會寧附近の陶土である、之は質も優良で量は無限らしい、然るに一方九谷燒を以て鳴る石川縣の陶業は

▲陶土の缺乏 のため近來甚だ憂ふべき狀況にありとの說あり從來も生氣嶺の陶土の如きは大阪を廻り石川縣に供給されてゐたが新航路の開始により直接非常によい輸送機關を見出す譯で成北のためには甚だ有利であらうと思ふ（三）琿春材も有望である琿春材は阪神の造船用として既に若干の出貨をしたが今後は一層其の需要は殖ゆるであらうし又伐採も清會線の全通に伴なひ頗る有利となるからドシ／＼出荷する事と思ふ、序でに琿春材は三十尺内外の長尺のもの少なからず而して量は無限で質もよく造船用として適好である、

▲生牛の内地移出 は（四）には生牛を數ふべし之れまでも何回かやつたが定期航路開ければ愈々有利にやれる事と思はれる雌久原の甲山銅山の粗銅は大分縣佐賀の關精錬所に送つてゐるから横斷航路が出來ても問題にはなるまい、さて以上を移出貨物の主なるものとし移入は如何と云ふに先づ繩叺日用雜貨等の外多くを數ふる事は出來ぬやうだ然し現今名古屋を中心とし岐阜縣滋賀縣と朝鮮との間に貿易は必らずしも少額でない。それが目下の所阪神經由と云ふ事になつてゐる、唯横斷航路が開ければ自然地の利から見ても運賃より採算するも

▲阪神經由 を捨てゝ横斷航路による事となりはすまいか、又將來さうなさねばなるまい、更に北鮮と裏日本並に名古屋附近及び以東との間に旅客は如何と云ふに北鮮と裏日本の交通するものは運賃が安いから本航路に乘船するかと思ふ、然し之れは素より多きを望み難い

◎仁海間定期休航

客年十二月二十六日午前二時海州に向け仁川港を出航したる朝鮮郵船汽船錦江丸は龍塘浦に著港したるも流氷甚だしく荷役不能の爲め同地に陸揚すべき貨物積載の儘同八日午後七時四十分歸港したるに付同航路は當分の間休航の止むなきに至れり

◎東拓各室入換

東拓京城支店にては十一日階下にありし鮮滿課を階上に移し殖民課を庶務課の一方面に移轉し更に階下の殿下接室を撤去し殖民課の後には土木課の製圖及び京城出張所の一部を容れたり

□朝鮮刑事令の改正に就て
京城辯護士會會長　劉文煥氏談

朝鮮刑事令改正は朝鮮人に取つては最も有難くそして又當然ある べき事であると思ふ。去る明治四十五年朝鮮舊來の刑法が廢され朝鮮人にも内地の刑法大全が用ゐらるる様になつたが併しその時當局の方に於いては當時朝鮮の現狀に鑑みて朝鮮人の特殊犯罪に限つては猶ほ舊刑法大全の効力を保有せしめたのである。そしてそれが故に同じく内地刑法の下に生活する内鮮人の間に刑罰上多少不權衡があつたのである、例へばその特殊犯罪を内鮮人共謀して行ふた場合に内地人は内地の刑法に依つて刑罰を受け、朝鮮人は刑法大全に依つて刑を受けるのであるから兩者の間に多少不權衡がないとも限らなかつた。又舊刑法大全はあまりに峻酷であり且つ刑罰の伸縮力に乏しいために各々の犯罪事件に就いて適應する量刑をなす事が出來なかつた缺點があつたが併し今朝鮮人も段々智識程度が向上して今は全く内地の刑法を適用しても差支へのない様になつたのは刑事令改正そのものよりも先づ一般朝鮮人社會の進歩を喜ぶ次第である。それで全く刑法上に於いて内鮮人の區別がなくなつた譯である。併し猶一つ遺憾に思ふのは朝鮮には何等適當な親族法相續法がなく慣習に依つて訴訟上多大の不便がある。例へば朝鮮人には成年未成年を年齡に依つて區別するのでなく司法官の鑑定に依つて定めるのだから十五六歳の少年を成年と見做す事もあれば時には二十五六歳の壯年をも未成年者と見做す事があつて甚だ不都合を感ずる次第である。從つてそれも近く何んとか適當な條令が設けられる事と思ふ。

◎德川家正氏入京

外務書記官より北京公使館附書記官に轉任せる德川家正氏（德川家達公令嗣）は赴任の途次十一日夜南大門驛著列車にて入京朝鮮ホテルに一泊の上十二日夜行を以て北行任地北京に向ふべしと

◎鷲尾課長歸任期　目下歸省中の滿鐵京管局庶務課長鷲尾弘準氏は來る十三日頃歸任の筈

◎運滯輸送に關する協定　過般滿鐵京城管理局にては内地行停滯貨物の爲め釜山澤山兄弟商會と大貨物の運滯運送を開始せしことは既報の如くなるが其取扱手續第二條による澤山兄弟商會所定の條件今回完成したるが全文二十一條より成り居れりと

◎國境貿易概況（承前）
新義州稅關監視部　寺尾規矩郎氏談

◎陳列館觀覽人員　客年十二月中の商品陳列館來觀人員を聞くに内地人五百三人朝鮮人一千三百六十一人外國人三十一人計一千八百九十六人にして之を開館日數の二十日に割當つれば一日平均九十五人弱一月以降の累計は内地人二萬九千百人朝鮮人七萬一千七十八人外國人七百七十六人合計十萬九百五十四人にして之を開館日數二百九十七日に割當つれば一日平均三百四十人弱を算する譯なり

營林廠にても少からず打撃を受けたるもの、如し次に安東と新義州との間は誠に一衣帶水の間にあり而も其の經濟狀態に於ては甚大の相違あり殊に銀の高低は輸出入貿易上に甚しき影響を來し銀價高騰すれば

▲支那木材の如き は輸入する事を得ず殊に銀の高騰に依る一旦輸入せし物品が更に入還さるゝが如き結果を見ることも少からず又鴨緑江沿岸に於ける支那燒酎の輸入は著しく減少し大正四年九月より同五年八月迄一箇年間に於ける數量は一四八、五五一升なりしが大正五年九月より同六年八月までの一箇年間に於ては六二四六、七升に減少せり又消費税施行前後に於ける一箇年の增減を示せば更に著しく減少せしを知ることを得べし即ち施行前八六、八八八升輸入せしに拘はらず施行後に於ては三二、六一四升となれり減少の

▲理由として は消費税と關税との二重税を附課せられ依つて價の騰貴したるに因ると一は鮮人の近時日本酒を愛飲する者の多きを加へたるとに因るもの、如し（新義州＝完）

人事消息

▲加茂商二氏（小野田セメント會社）十一日夜入京大和館へ ▲榊原太吉氏（中村組支配人）同上 ▲松岡直温氏（中村組技師）同上 ▲日比永城氏（歸護士）十一日入京

百鬼百種

歐洲開戰前までは何處の國でも大學教授と云へば一概に世間の事に暗く非常識者と思はれて居た▲所がプリンストン大學教授だつたウヰルソン君が彼の通りの世界的の大政治家と「ルーズヴエルト」君以上の政治的手腕を發揮するし▲次で前の伊國内閣議長パルパウヘリー君夫から獨逸のヘルトリング君伊太利のオルランド君など皆曾て大學に教鞭を執つた人などがある▲されば昨今歐米殊に米國などでは大學教授の鼻息と來たら大したもので實際の政治は學者でなければ駄目だとまで氣焰萬丈▲數年前袁政府の顧問となつて居た憲法學者グットノー君の如きもコロンビヤ大學總長パトラー君と共に政治家として一般市民から大に囑目されて居る▲本人自身も亦第二のウヰルソン君たらんとする大野心を抱いて居るとか▲英國などでも今に前首相アスクイス君の人氣の衰へぬのは何か政治家として同君のロイド、ジヨーヂ君より學問があり素養が深く何處となく人間がレフアインされて居るからだらう▲從來政治に何等の趣味を持たなかつた紐育の百萬長者ヴアンダー、ビルト家の一人が昨冬市長選擧に際し▲前市長ミツチエル君の爲め大枚四十萬圓を投出したのも▲ポリチーシアンを排してスチーツマンを迎へるとの意味であるさうな之れも其の影響だらう▲政治家と云へば伊國視察の米國々會議員テルカム君は舊臘ピアヴ附近の伊國砲兵陣地で聯隊長に勸められて▲一四九耗米突砲を發射して非戰鬪員が敵軍に向け大砲を發射した記錄を作つて大威張▲處が之は立派な戰時法違反で敵に捕へらるゝと戰鬪員同樣捕虜の取扱を受けると聞くや▲忽ち顔が青になつて震へ上がつたと云ふ噂話が同方面から傳へられて居る

◎生糸賣行旺盛

輸出生糸市場は越年後七日に至り大手合運ばれ[illegible]と相呼應して一擧廿五斤許りの[illegible]即ち甲九十番五[illegible]

京日案内

普通　一回前金五十錢（に拾銭増し）　番外　一回前金一圓（廿名一回毎）

◎社員數名募集　旭町一丁目上　朝鮮及滿洲社

◎代診及び看護婦入用　希望者は至急電話一九番　直塚醫院 241 2 5

◎看護婦至急入用　本人來談されたし　希望者は南鎮　252

◎旭町二丁目　旭町一丁目八〇便利地眺望佳　當良官吏向貸家六疊半二　及支關貸十五圓電三一六〇へ　瀬戸醫院 226

◎電話讓度し　本社構内十六番へ

◎女事務員採用　身體強健高女卒業程度　名草町一〇六報映公債朝鮮支部 233

◎女工募集　ミシン經驗有る者　見習數名至急來談あれ電二九一四　京城永樂町一丁目大正足袋店 632

◎計員希望　所有年三〇八の四三藤　入恩給市内櫻井町一

◎保證金千圓迄納社に入度但

◎店員入用　十四五歳より二十歳まで市内に確實なる保證人を要す　本町四電話一四九二　佐野屋 230

古本と古樂器讓買受　確實なる本町ウツボヤ書籍店　電二五二二三振二三七 203

番外

◎店員募集　二十歳以上三十歳迄中學程度の教育ある者數名入用希望者は履歷書携帶本人來談　京城南大門驛前電話一二〇番　中村運送店 234

鑛物各種分析　明治町二丁目　文那領事館前郵便本局裏通電話長二七七一　田部分析所 219

◎鑛物各種分析　太平町二丁目二六電長二八二三　遠藤醬油店向側入る　松永分拆所 222

◎鑛物定量分拆　太平町二丁目一二五電長一三四四　朝鮮公論社左横小路　坂元分拆所 213

朝鮮語科　英語科　新學期募集高等科新設　質用語教授　外人三名出席　南大門通り漢城銀行前京城青年會 218

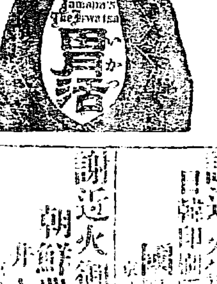
恩給年金即時　最長期低利現金　確實安全　無保險保證人不要　京城南大門外（蓬萊町）春三年分迄　電二六八八番　山口屋 208

年金恩給　利極安前引なし　▲京城永樂町　▲四年半迄保險不要　商品陳列館前　江州屋本店 212

記者入用　京城に於て從來新聞雜誌に經驗ある者希望者は履歷書携帶本人來談　京城黃金町三　京城新聞社 246

◎小供入用　齡十五六歳小學校卒業したる者本人來談あれ　南大門通り二丁目　鐵商　南方商店 247

▽▽朝鮮名物△△　金剛飴　金剛山　京城本町　電話二十七、四七五番　龜屋



正月の胃　飲み過ぎ喰い過ぎ二日醉まへ理想的のクスリ

胃病良藥　胃活　定價（一週間分）廿五錢、（二十日分）一圓、五十錢、四十五錢　請賣全國及海外要所の各藥店にあり　本舖…東京…大阪…山田安民藥房

謝近火御見舞　京城南大門驛前電話一四五八番　御成座隣　稻葉旅館

謝近火御見舞　京城南大門外　洋行　白神支店　電話二五一七番

謝近火御見舞　產婆　松尾のぶ　京城蓬萊町一丁目　電話一九三三番

謝近火御見舞　重行水鈴寶買　一葉商會　京城南大門通リ五丁目　電話一四一七番

謝近火御見舞　龜山外次郎　京城南大門通五丁目　電話一五三一番

謝近火御見舞　京倉商會　京城南大門通五丁目　電話二九四〇番

謝近火御見舞　和洋菓子　春日堂　京城南大門外　電話一〇七一番

謝近火御見舞　井上好雄　京城蓬萊町一ノ八九

謝近火御見舞　南滿洲鐵道株式會社　鑛業部京城販賣課出張所

謝近火御見舞　三好和三郎商店　京城南大門五ノ五九　電話一五二三九番

謝近火御見舞　貿易商　牧野佳造商店　京城南大門通五丁目　長電話二九二五番　振替口座京城三五六四番

謝近火御見舞　[illegible]

謝近火御見舞　國分傳三郎　[illegible]

謝近火御見舞　朝鮮農林商會　井上逸太郎

謝近火御見舞　豐田商店

謝近火御見舞　若松　[illegible]

謝近火御見舞　ドラック商會滿鮮本部　豐野九十郎　京城南大門通五丁目　電話二五六七

謝近火御見舞　三好伸一　木村商會　京城南大門通五丁目　電話長一三六四

謝近火御見舞　森本　櫻家旅館　京城南大門通五丁目　電話長三二三

謝近火御見舞　京城南大門驛前　朝日組支店　電話一五九番

謝近火御見舞　麻袋繩叺商　丸二商會　京城蓬萊町一丁目　電話二五四一番

春場所 大相撲 "初日"

東京大相撲は豫定の如く十一日より開場したるが當日の重なる勝負及び二日目の取組は左の如し（十一日午後十一時着電）

[illegible]

源氏山に千葉崎

[illegible]

宮城山に明

[illegible]

兩國に紅葉川

[illegible]

九州山に眞砂石

[illegible]

大の高に大潮は

[illegible]

鞆網に三杉磯

[illegible]

▲二日目取組

中入後手捌＝欄外に

[illegible]

僕自が阿呆駄羅經

隱し藝は何にもないよ

大雪のお蔭で豫定が狂つた
朝鮮も北京も初めての見参

北京公使館書記官　徳川家正氏談

北京公使館附書記官に轉任せる外務書記官徳川家正氏は別項記載の如く十一日夜南大門驛着列車にて入京せるが氏は途中遲延せし列車中にて語る

『丁度私が東京驛を出たのは一月七日でしたが途中列車が例の大雪の爲めに非常に遲延したので豫定より一日餘りも後れました其れに京都と大阪に立寄つて來ましたが米原から京都に至る間では下關迄も行ける樣な時間を取り三度も食事を採らねばならぬ程でした今は全く

◆順調に通じて居るので

しようが私が行つた時には先著の列車から順々に出發せしめねばならぬので不通では無かつたけれど非常に遲延したのです沿道の如きも大變な積雪でした然し御蔭で海は非常に樂で此の列車の如きも少しも遲れて居ない樣ですね、朝

◆汽車丈けは先づ豫想外でした。私は此の朝鮮も初めてだし北京も初めてです而し却つて面白いかも知れません支那の形勢も分りません南北の睨み合ひも好い加減に片付かないと私等の仕事が忙しくつてやり切れません……

◆入京せる徳川書記官（十一日夜南大門驛にて）

盲腸炎の話 ―2―

總督府醫院醫官　植村俊二氏談

▽早く手當をする

ここが肝要

然らば斯る場合如何なる手段を執るべきかといふに只早期に根治手術を施すにあるのみである。早期といふは通常發病後四十八時間以内を指し、此の間ならば分泌物も多からず『腐敗性腹膜炎』も起らず殆んど理想に近い手術を行ひ得て『蟲樣突起』を除去し

[illegible]

四軒共著の身著の儘

◆又復南大門通の火事騷ぎ

損害額十千圓 原因は火鉢から

[illegible]

◆隨分酷いね　賢に寄想天

其れはそうと僕は阿呆駄羅經が隱し藝だとは……

[illegible]

傳染病室燒く

一名燒死す

[illegible]

大阪相撲紛擾

[illegible]

▲紛擾落著

[illegible]

◆出稽者

[illegible]

御成座を初め

[illegible]

給水時間中であつたのは

[illegible]

外出不在中

[illegible]

◆全燒の建物

[illegible]

◆猜く同情の寄金

[illegible]

四温の日に

京城婦人會初會

[illegible]

◆質屋組合總會　京城質屋組合

[illegible]

窮民へ二百圓寄附

[illegible]

MITSUWA BRILLIANTINE.

Modern science has brought is such an excellent hair oil as "Mitsuwa Brilliantine" It bases upon the famous Mitsuwa Camellia Oil, which is matchless for the hair health, combined with the best perfume by a special process. It nourishes the beauty of the hair and maintains its vitality, lustre and colour. Also it removes dandruff, stops scalp itching and prevents hair from falling.

Price 30 Sen and 50 Sen.

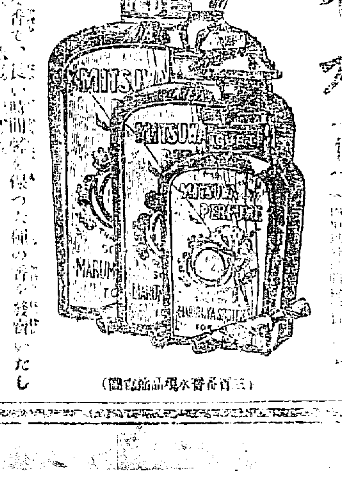
ミツワブリリアンチン

本邦人の毛髪に適する模範的光澤香油にして、最高なる芳香料とミツワ椿油とを以て調成せる

（現品寫眞圖）

三百番香水

優雅で、經濟で、而して最も優良な



（三百番香水現品寫眞圖）

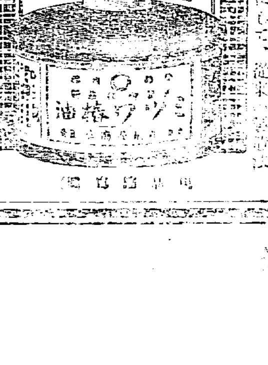
ヴァイオレット
ロース
リリー
ゲッケイ
ミツワ
ムゲット
モス
プーケー

MITSUWA
TSUBAKI CAMELLIA OIL.

ミツワ椿油

毛髪の衛生に適し其の色澤を漆黒艶麗ならしむる

本品は新鮮なる椿の實を以て精製したるものにして



（現品寫眞圖）

ミツワ石鹸
ミツワ椿油
ミツワ家庭藥
規那鐵葡萄酒
肝油ドロップス

發賣元　丸見屋商店

東京市日本橋區橘町四丁目
藥劑、滋養品、石鹸、香粧品、小間物問屋
電信略號◎ミヤ、振替貯金口座東京七一〇番
營業部電話浪花三〇四四八、四四九、四五〇番

第百十八回　大阪　霞の家主人

編笠浪人（十二）

『お客樣へ對して、何とも辯解がございません、どうぞ御免下さいまし』

桐島は云ふ聲と共に平伏した、宗之助は早くも推量して

『さては夜中と云ひ、米屋が寢て居る事でござるかな、それなら宜しい、なにが、一晩や二晩食事をせずとも、餓死は致すまい、お蔭を以て雨露を凌ぎ、その上御迷惑を掛けては濟まぬ、御容赦下され』

と手を支いて云つた

『何う致しまして戴くて、あたくし穴へでも入らねばなりません、何もございません、只わたくしの物と云ふては、此の身體ばかりでございます、生き甲斐のない身、切ては肉を切り裂いて、お客さまの飢餓をお救ひ申すことが爲きたら此の上もない本望でございます、わたくしもまた死榮が致します、これに母の記念の短刀がございます、どうかお氣に入つたところを切り取つてお喫り下さいまし一滴の血汐でもお客樣のお腹へ入れば、わたくしは歎びます』と眞前な面して云つて、黑鞘に蒔繪の模樣を裝給した短刀を取り出した

『ま、お待ち下さいまし、決して左樣なものではございません、これには用がございます』

『それでも今、和御寮の口から、鬼の住居といふたでないか』

『鬼の住居でございます、けれど旦那樣を取つて喰はうとは云ひません、世にわたし程ど不幸なものがございませうか、斯樣にお宿を致しまするも、前世からの因縁と心得ます、ま、お聞き下さいまし、わたくしの一身をさし上げて、あなた方の飢ゑをお救ひ申さうと致しましたのは、生き甲斐のない生涯を見限つたからでございます』

『何んと仰せやる』

宗之助は坐り直した

をかお秘し申しませう、米屋は近所にございましても、それを調へる為目がございません』と云ひさして涙を溢した

『御推量申す〳〵』と宗之助は同情の目を瞬叩いて『貧富は天命と申します、その内には好い春が参るでござらう』

『ではございますが、切角お宿を申しながら、一椀の御飯もさし上げませんでは、何んとも辛く情無く心得ます、つきましては、御無理なお願ひでございますが、どうぞ、わたくしの肉を切つてお喫り下さいまし』

『ね』と主膳びツくりして、可愛らしい目を向けた

『憾樣事を申し上げましたら、さぞ氣味の惡い事を云ふ女だと思召しもございませうが、御甕の邊りの茅屋で、何一つさし上げるもの

『滅相もない事をお云ひなさい、わし達は鬼や惡魔ぢやござらんぞ、恩のあるお方の肉を切つて喰はうとする人非人では決してない、お見遁へ下さるな』と宗之助はきつと云つた

主膳は三尺程ども後へ退つて、まぢ〳〵と桐島の面を見て居る

『あなた方を見遁へては居りません、御免下さいまし、鬼の宿はこゝでございます』と桐島は悲しさに咽び入つた

『旦那樣、御油斷なされますな、安達ケ原にあるといふ鬼の宿はこゝでございます、斯うして旅人を引き寄せて、吊天井を切つて落し路用の金を奪らうとする惡魔の宿はこゝでござります、長居は恐れぢや、そろ〳〵暇を致しませう』宗之助は油斷無く目を配つて、主膳を促すやうにする、桐島は袖をひかへて

初東風

（新年務集作句錄）

初東風の落ちては薫る潮哉　梅政（鏡城）
初東風に猫の圓らな眼かな　李菩　拙川
初東風に蘇る薮の穂先哉　居嶷（晉州）
柱聯に初東風渡る書堂哉　高岑（龍山）
初東風に牛の涎も光るかな　五十嵐（拙川）
初東風に物皆光る景色哉　天崇（河東）
初東風や鍛冶屋が並ぶ町端れ　芳水（平康）
初東風や空高く飛行機が過ぎ　鶴尾（開城）
初東風に御手植の松仰ぎ過ぐ　五暁（水原）
初東風に庭掃く妹の微笑哉　紅丈（同）
紺碧に深き御空や初東風す　梁紘（淸州）
初東風やリボン可愛ゆき女の子　松骨　杯城
初東風に車上の人の微吟哉　得宵（大田）
初東風や山裾村の朝炊ぎ　水也（新興）
初東風や旭輝ける屋根の雪　乃癸（龍山）
初東風に傲れるシャモの鷄冠哉　来刀（公州）
初東風や鶴唳に松諧和す想ひ　桃の舎（忠州）
初東風に酔ける舟の煙哉　黄朗（紅葉）
初東風や門開く我兒賴母しき　湛征（羅州）
初東風に揺るゝ御旗や馬の鬣　若山（京城）
初東風や朝日の濱に鷺が居る　一宗（忠州）
初東風に汐汲む海女の唱歌哉　春三女（大田）
初東風や渡るや妹が門　ゆかり（大邱）
初東風や我里は尚ほ雪深き　新碑（新興）
初東風が渡るや馬の鬣に　黒龍（群山）
初東風や望遠鏡に寫る島　朴堂（開城）
初東風や憲兵の乘馬遥か　子行（鬱島）
初東風や水平線の一片帆　孝山（利川）
初東風に馬の腹帶締めけり　松月（義州）
初東風の爽かに吹く袂かな　松元（全州）
初東風や付連ねて詣で人　待宵（大田）
初東風や長橋を渡る懐手　浮石（洪城）
初東風や松の穂先に浮ぶ船　大林（寺洞）

京日俳壇

短日

門を移して冬日影射す玄關哉　末刀
短日の木戸鎖しある我家哉　同
餅ぎ汁が短日の陽に通へる哉　楓亭
埋棺の土染むや短日の雲　同
短日の影曳くや干し忘れ衣　才涯
短日の驛路見ゝて日暮たり　同
短日や窓に影織る柿二本　柿實
短日を烟らす谷の藁屋哉　同
干物に短日の陽が流れ居る　鮑石
短日の庭樹に鳴かが居り　逐天
短日の汽笛を鳴らす工場哉　森糸
短日の空低ふ飛ぶ鳥かな　翠葉
郵便夫の來て去る門や日短き　東溪
工場の蒸ヒソと射す冬日哉　一樹

新刊紹介

▲實業之日本（新年倍大號）　増田社長の『我帝國の新使命』新渡戸博士の『新年劈頭の言』[illegible]
▲日本少年（新年號）[illegible]（三十錢東京京橋 實業之日本社）
▲婦人世界（新年號）[illegible]（實業之日本社）
▲少女の友（新年號）[illegible]
▲幼年の友（新年號）[illegible]
▲文藝俱樂部（新年號）[illegible]（三十錢東京博文館）
▲文章世界（新年號）[illegible]（五十錢東京博文館發行）
▲滿鮮評論（第壹卷第一號）新裝の新年號である、新年に際し國際政局の推移を論ず[illegible]
▲朝鮮及滿洲（一月號）年頭の感（釋尾旭邦）北支那より南支那へ（同）外國際分裂の破壞と戰後の航民政策[illegible]（三十錢京城旭町二丁目社發行）
▲朝鮮公論（新年號）新裝を迎へて人心緊清を促す（牧山社長）大戰五年を迎へて帝國の大策を説論す（仲小路農相）の外美濃部總裁、小原長官、元田代議士、早川千吉郎氏其他の記事網羅めて豐富にして活氣縱溢たり（四十錢京城太平通二丁目社）
▲新公論（新年號）本號は紙數を三百頁以上に增大し社説の外論文は諸大家の執筆にて何れも親しく執筆せる者なり其他創作及び多趣味なる記事多し（四十錢加賀町十八新公論社）
▲太陽（新年號）四百餘頁の充實せる內容を盛りて新年號を出せり、政界、學界、評壇、文壇の名士を網羅して何れも堂々たる指導的な文字を滿載し附錄大篇の小說中大阪朝日新聞懸賞小說一等に當選して賞金千五百圓を得たる野村愛正氏作品あるは特に注目を惹く（六十錢東京博文館發行）

雪　―十五の日十の日會―

[illegible]　浮碧樓
[illegible]何事も分らぬ母　[illegible]
起重機がこちら向きし雪の立神　鳥堂
雪の上の蜜柑の皮いつまでもあり

皮膚科　皮膚病　黴毒　淋病　睾丸病　生殖器　機能障礙　日曜祭日午後二時迄　入院隨意（診察夜九時迄）　京城明治町二丁目（元一丁目）　佐藤醫院　（電話一一七三番）

齒科診療　本町一丁目三越向電話一〇四七番　野田齒科醫院　齒科醫士　野田繁吉

痔疾專門　京城明治町二丁目（本町より入る中程）　京城久枝肛門病院　入院隨意　電話二一〇二番

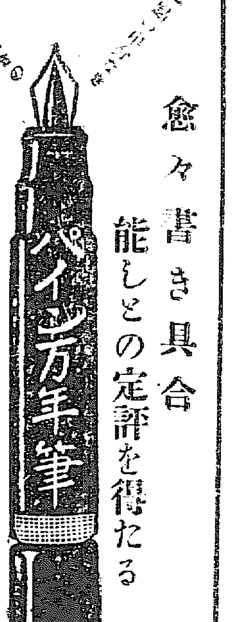
てんかん　病で時々ヒキツケ困る方切手二錢送れ永年の病も自宅でナヲス事の書た爲になる本を呈す　名古屋市中區南小川町　救生館

花柳病專門　外科　◎梅毒◎淋病◎泌尿生殖器病◎睾丸病◎肛門病◎皮膚病　婦人病◎神經衰弱ヒステリー　606　京城南大門通農工銀行裏　司生堂醫院　電話三〇六五番

御待兼ねの　八八道具花札外　新荷着仕候　京城本町二丁目　洋家具商　森啓商店　電四三〇番　振京城一五〇番

大日本政府登錄商標　"PINE"

愈々書き具合能しとの定評を得たる



萬年筆の眞價はパインを除き他に知るべからず

一本具合惡しき節は破損の節に交換修繕又は無料修繕

特許部品防破裝置附
押出式萬年筆　金六圓八十錢
押出式萬年筆（七年向）　金三圓八十錢
押出式萬年筆（七年向）　金五圓九十錢
インキ止式（婦人用）　金三圓八十錢
インキ止式（學生用）　金二圓八十錢
パイン萬年筆（事務用）　金一圓九十五錢

發賣元　京城太平通一丁目　京城日報社代理部　振替京城三〇〇番　電話三二六。六六〇　構內一八番

一番効力の確かな齒磨は

クラブ洗粉本店謹製の

クラブ齒磨

最新最良のクラブ齒磨は英國技師擔任の下に謹製せらるゝもので齒ご口中の衞生上他に類のない有効な原料を用ひ防腐、消炎、殺菌の力に富める貴重な藥品を配合し普通の齒磨に比較すると五倍以上の効果がある上に使つた後で非常に爽快を感じますから醫學者間でも理想の齒磨として推奬されて居ります

尼崎汽船仁出帆
仁川木浦釜山下關神阪行
秀吉丸　一月廿二日後四時
大有丸　一月十五日後四時
君代丸　一月十九日後四時
神代丸　一月廿四日後四時
仁川海岸通町二丁目（電話十九番）　高杉回漕部

日本郵船仁川出帆
大連行
三河丸　一月廿一日
營口丸　一月
商砂丸　一月三十日（正午出帆）
仁川海岸町一丁目　堀回漕部

共同汽船仁川出帆
阪神、芝罘、大連行
共同丸　一月十六日午後入港　一月十八日前十時出帆
本町四丁目（電話一七三番）　野口商會
仁川代理店　京城代理店　元山代理店

大阪商船株式會社　汽船出帆廣告
仁川出帆
神戸大阪行（釜山門司經由）
×大智丸　一月十四日　午前
×木浦、釜山、下關、神戸行
安東丸　一月廿五日
大連行
安東丸　一月廿一日
宮島丸　一月七日
西湖津、新浦、城津、清津行
宮島丸　一月十七日
釜山、門司、字品、神戸、大阪行
上海、基隆、打狗行
湖北丸　一月十四日
基隆丸　一月
内地各港行
南米行　北米行　濠洲行　南洋行　孟買行　毎月一回
大阪商船株式會社仁川支店　京城代理店

朝鮮郵船
元山より北鮮各地經由雄基行
第二商運丸　一月十三日
成鏡丸　一月十九日
京畿丸　一月
忠清丸　一月
元山より北鮮各地經由雄基行
穩城丸　一月
鏡城丸　一月
京畿丸　一月十三日
忠清丸　一月
大阪神戶行（釜山門司經由）
平安丸　一月
元山より釜山廻門行
第二商運丸　一月廿四日
京畿丸　一月十五日
元山より江原道洛浦釜山雄基門行
咸鏡丸　一月廿一日
忠清丸　一月
鬱陵島行浦項及各地經由
登德丸　一月
浦項行（長生浦方魚津甘浦九龍浦經由）
江陵丸　一月
寶陽丸　毎日
濟州島行長承浦巨濟島經由
昌平丸　一月
濟州島行
西廻　慶興丸　一月
東廻　公州丸　一月
釜山、麗水間
統營丸　巨濟丸　毎日釜山發
木浦麗水間
順天丸　三日目毎ニ木浦發
木浦ヨリ多島海各島行
慶興丸　一月
仁川木浦行（群山其他各地經由）
晉州丸　一月
金海丸　一月
仁川鎭南浦行（海州其他各港經由）
宗信丸　一月
海州行（江華島各島經由）
全州丸
南陽丸　休航
仁川
江原丸　一月
青島行（芝罘、大連經由）
清津行（大阪神戶門司より）
平讓丸　一月十三日
元山發
本社　京城南大門通　電話一九五三番
釜山支店　元山出張所　仁川港代理店　木浦港代理店